

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記原理		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	4 5 単位時間		
授業コマ数	2 3 コマ		
授業概要	簿記の基本原理の理解を目的とする。個人商店を前提とした複式簿記の基本原理を学ぶことで簿記の基本原理を理解させる。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）	13 費用および収益の決算整理（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）	14 株式会社の純資産（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）	15 英米式決算法（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）	16 簿記の基本原理（証ひょうと伝票①）
	5	決算整理（基礎編）	17 簿記の基本原理（証ひょうと伝票②）
	6	精算表（基礎編）	18 期中取引の処理（現金預金①）
	7	現金および預金（基礎編）	19 期中取引の処理（現金預金②）
	8	手形（基礎編）	20 期中取引の処理（売掛金と買掛金）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）	21 期中取引の処理（その他の債権と債務①）
	10	その他の債権および債務（基礎編）	22 期中取引の処理（その他の債権と債務②）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）	23 期中取引の処理（その他の債権と債務③）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記通論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	4 5 単位時間		
授業コマ数	2 3 コマ		
授業概要	個人商店を前提とした会計処理方法の習得を目的とする。一般的な商取引に対する会計処理、簿記の基礎にある初歩的な会計理論を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解することができる		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	簿記の基本原則（基礎概念）	13 期中取引の処理（その他の債権と債務①）
	2	簿記の基本原則（取引①）	14 期中取引の処理（その他の債権と債務②）
	3	簿記の基本原則（取引②）	15 期中取引の処理（手形①）
	4	簿記の基本原則（勘定①）	16 期中取引の処理（手形②）
	5	簿記の基本原則（勘定②）	17 期中取引の処理（商品①）
	6	簿記の基本原則（帳簿①）	18 期中取引の処理（商品②）
	7	簿記の基本原則（帳簿②）	19 期中取引の処理（固定資産①）
	8	簿記の基本原則（証ひょうと伝票①）	20 期中取引の処理（固定資産②）
	9	簿記の基本原則（証ひょうと伝票②）	21 期中取引の処理（純資産）
	10	期中取引の処理（現金預金①）	22 期中取引の処理（収益と費用①）
	11	期中取引の処理（現金預金②）	23 期中取引の処理（収益と費用②）
	12	期中取引の処理（売掛金と買掛金）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	商業簿記論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	演習・講義		
授業時間	9 0 単位時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法の習得を目的とする。決算整理を中心とした会計処理および勘定形式の報告書類作成方法を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編）	24 企業結合①（基礎編）
	2	現金預金（基礎編）	25 企業結合②（基礎編）
	3	債権・債務（基礎編）	26 企業結合③（基礎編）
	4	棚卸資産（基礎編）	27 確認テスト（第1回）
	5	有価証券①（基礎編）	28 税金①（基礎編）
	6	有価証券②（基礎編）	29 税金②（基礎編）
	7	有価証券③（基礎編）	30 税金③（基礎編）
	8	固定資産①（基礎編）	31 伝票と帳簿①（基礎編）
	9	固定資産②（基礎編）	32 伝票と帳簿②（基礎編）
	10	固定資産③（基礎編）	33 伝票と帳簿③（基礎編）
	11	固定資産④（基礎編）	34 決算①（基礎編）
	12	債務保証①（基礎編）	35 決算②（基礎編）
	13	債務保証②（基礎編）	36 決算③（基礎編）
	14	引当金①（基礎編）	37 本支店会計①（基礎編）
	15	引当金②（基礎編）	38 本支店会計②（基礎編）
	16	収益と費用①（基礎編）	39 本支店会計③（基礎編）
	17	収益と費用②（基礎編）	40 連結会計①（基礎編）
	18	為替換算会計①（基礎編）	41 連結会計②（基礎編）
	19	為替換算会計②（基礎編）	42 連結会計③（基礎編）
	20	為替換算会計③（基礎編）	43 連結会計④（基礎編）
	21	株式会社の純資産①（基礎編）	44 連結会計⑤（基礎編）
	22	株式会社の純資産②（基礎編）	45 確認テスト（第2回）
	23	株式会社の純資産③（基礎編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	会社会計論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	必修		
授業方法	講義・演習		
授業時間	4 0 単位時間		
授業コマ数	2 0 コマ		
授業概要	株式会社会計の基本理解を目的とする。株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	財務諸表	11 退職給付
	2	有価証券	12 資産除去債務、純資産
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計	13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション
	4	有形固定資産	14 税効果会計
	5	割引現在価値	15 外貨建取引
	6	リース取引	16 商品売買等
	7	固定資産の減損	17 工事契約
	8	研究開発費とソフトウェア	18 本支店会計
	9	繰延資産、社債	19 連結財務諸表総論
	10	引当金	20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	電卓技能			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習・講義			
授業時間	4 0 単位時間			
授業コマ数	2 0 コマ			
授業概要	電卓技能の向上を目的とする。企業内でも多く活用されている電卓のスピード、正確性を高める実技練習を行う。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い	11	電卓演習⑩
	2		12	電卓演習⑪
	3		13	電卓演習⑫
	4		14	電卓演習⑬
	5		15	電卓演習⑭
	6		16	電卓演習⑮
	7		17	電卓演習⑯
	8		18	電卓演習⑰
	9		19	電卓演習⑱
	10		20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	一般常識			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	4 0 単位時間			
授業コマ数	2 0 コマ			
授業概要	日常的に利用する漢字能力を身に付けることを目的とする。ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	一般教養として社会で求められる能力を身に付けることを目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	非言語演習①（四則演算）	11	非言語演習⑨（速さ）
	2	非言語演習②（分数の計算）	12	確認テスト③
	3	非言語演習③（割合）	13	言語①（二語の関係）
	4	確認テスト①	14	言語②（ことわざ）
	5	非言語演習④（仕事算）	15	確認テスト④
	6	非言語演習⑤（比）	16	言語③（熟語）
	7	非言語演習⑥（鶴亀算）	17	言語④（四字熟語）
	8	確認テスト②	18	確認テスト⑤
	9	非言語演習⑦（売買損益）	19	言語⑤（長文読解）
	10	非言語演習⑧（濃度）	20	確認テスト⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3 級総合			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	簿記 3 級検定合格程度の計算技術の習得を目的とする。入門レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ①（応用編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ②（応用編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ③（応用編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ④（応用編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	46	総合問題演習①
	17	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	47	総合問題演習②
	18	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	48	総合問題演習③
	19	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	49	総合問題演習④
	20	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	50	総合問題演習⑤
	21	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	51	総合問題演習⑥
	22	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	52	総合問題演習⑦
	23	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	53	総合問題演習⑧
	24	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	54	総合問題演習⑨
	25	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	55	総合問題演習⑩
	26	商業簿記総まとめ⑯（応用編）	56	総合問題演習⑪
	27	商業簿記総まとめ⑰（応用編）	57	総合問題演習⑫
	28	商業簿記総まとめ⑱（応用編）	58	総合問題演習⑬
	29	商業簿記総まとめ⑲（応用編）	59	総合問題演習⑭
	30	商業簿記総まとめ⑳（応用編）	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	総合原価計算論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする。伝統的な総合原価計算の会計処理を中心に一部、個別原価計算についても学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	伝統的な総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	16 標準原価計算②（基礎編）
	2	総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	17 標準原価計算③（基礎編）
	3	単純総合原価計算①（基礎編）	18 標準原価計算④（基礎編）
	4	単純総合原価計算②（基礎編）	19 標準原価計算⑤（基礎編）
	5	工程別総合原価計算①（基礎編）	20 CVP分析①（基礎編）
	6	工程別総合原価計算②（基礎編）	21 CVP分析②（基礎編）
	7	組別総合原価計算①（基礎編）	22 直接原価計算①（基礎編）
	8	組別総合原価計算②（基礎編）	23 直接原価計算②（基礎編）
	9	等級別総合原価計算①（基礎編）	24 直接原価計算③（基礎編）
	10	等級別総合原価計算②（基礎編）	25 工業簿記総まとめ①（基礎編）
	11	減損および仕損①（基礎編）	26 工業簿記総まとめ②（基礎編）
	12	減損および仕損②（基礎編）	27 工業簿記総まとめ③（基礎編）
	13	減損および仕損③（基礎編）	28 工業簿記総まとめ④（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）	29 工業簿記総まとめ⑤（基礎編）
	15	標準原価計算①（基礎編）	30 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2 級総合			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	簿記 2 級検定合格程度の会計知識と計算技術の習得を目的とする。商企業・工企業の複雑な会計処理を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	16	工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	19	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	20	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	21	総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	22	総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	23	総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	24	総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	25	総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	26	総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	27	総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_基礎編）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）	28	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）	29	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）	30	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	1 級総合		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	簿記 1 級検定合格程度の会計知識と計算技術の習得を目的とする。会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引	16 連結損益計算書
	2	貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計	17 連結貸借対照表
	3	資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション	18 会計上の変更
	4	自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳	19 包括利益
	5	売価還元原価法、転換社債	20 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題①
	6	電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産	21 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題②
	7	連結会計	22 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③
	8	キャッシュフロー計算書、企業結合	23 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④
	9	返品調整引当金、外貨建有価証券（減損）、ヘッジ会計	24 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤
	10	本支店会計総合問題（在外支店）	25 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥
	11	本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表）	26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）
	12	決算整理後残高試算表作成（会計上の変更）	27 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）
	13	決算整理後残高試算表作成（委託販売）	28 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）
	14	損益計算書作成（各種財務諸表金額算定）	29 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）
	15	損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定）	30 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1 級受験総合			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	大企業を前提とした、会計制度の理解を目的とする。個別会計は勿論のこと結合会計などを通じて近年の企業再編等も学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする			
教科書	オリジナル対策問題集			
特記				
授業計画	1	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①	16	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①
	2	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②	17	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②
	3	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③	18	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③
	4	日本ビジネス技能検定主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④	19	日本ビジネス技能検定主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習④
	5	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①	20	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①
	6	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習①復習	21	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習①復習
	7	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②	22	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②
	8	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習②復習	23	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習②復習
	9	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③	24	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③
	10	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習③復習	25	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習③復習
	11	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④	26	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習④
	12	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習④復習	27	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習④復習
	13	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習⑤	28	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習⑤
	14	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習⑤復習	29	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習⑤復習
	15	日本商工会議所主催 1級商業簿記・会計学 直前答案練習⑥	30	日本商工会議所主催 1級工業簿記・原価計算 直前答案練習⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	帳簿組織論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得する事を目的とする。試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類との関連性も体系的に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	46	総論（中級編）
	2	簿記一巡の手続、財務諸表（基礎編）	47	簿記一巡の手続、財務諸表（中級編）
	3	現金預金、銀行勘定調整表（基礎編）	48	現金預金、銀行勘定調整表（中級編）
	4	債権・債務（基礎編）	49	債権・債務（中級編）
	5	棚卸資産（基礎編）	50	棚卸資産（中級編）
	6	有価証券①（有価証券の分類）（基礎編）	51	有価証券①（有価証券の分類）（中級編）
	7	有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券）（基礎編）	52	有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券）（中級編）
	8	有価証券③（子会社株式、関連会社株式）（基礎編）	53	有価証券③（子会社株式、関連会社株式）（中級編）
	9	有価証券④（その他有価証券、端数利息）（基礎編）	54	有価証券④（その他有価証券、端数利息）（中級編）
	10	固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定）（基礎編）	55	固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定）（中級編）
	11	固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費）（基礎編）	56	固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費）（中級編）
	12	固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳）（基礎編）	57	固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳）（中級編）
	13	固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、減失）（基礎編）	58	固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、減失）（中級編）
	14	固定資産⑤（リース会計、無形固定資産）（基礎編）	59	固定資産⑤（リース会計、無形固定資産）（中級編）
	15	固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産）（基礎編）	60	固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産）（中級編）
	16	債務保証（基礎編）	61	債務保証（中級編）
	17	引当金①（貸倒引当金）（基礎編）	62	引当金①（貸倒引当金）（中級編）
	18	引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理）（基礎編）	63	引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理）（中級編）
	19	引当金③（その他の引当金）（基礎編）	64	引当金③（その他の引当金）（中級編）
	20	収益と費用（基礎編）	65	収益と費用（中級編）
	21	為替換算会計①（外貨建取引）（基礎編）	66	為替換算会計①（外貨建取引）（中級編）
	22	為替換算会計②（為替予約）（基礎編）	67	為替換算会計②（為替予約）（中級編）
	23	株式会社の純資産①（意義、純資産）（基礎編）	68	株式会社の純資産①（意義、純資産）（中級編）
	24	株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等）（基礎編）	69	株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等）（中級編）
	25	株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動）（基礎編）	70	株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動）（中級編）
	26	企業結合（基礎編）	71	企業結合（中級編）
	27	税金①（消費税）（基礎編）	72	税金①（消費税）（中級編）
	28	税金②（法人税等）（基礎編）	73	税金②（法人税等）（中級編）
	29	税金③（税効果会計）（基礎編）	74	税金③（税効果会計）（中級編）
	30	帳簿組織（基礎編）	75	帳簿組織（中級編）
	31	伝票会計（基礎編）	76	伝票会計（中級編）
	32	決算①（決算整理、帳簿決算手続き）（基礎編）	77	決算①（決算整理、帳簿決算手続き）（中級編）
	33	決算②（財務諸表、精算表）（基礎編）	78	決算②（財務諸表、精算表）（中級編）
	34	製造業を営む会社の決算処理（基礎編）	79	製造業を営む会社の決算処理（中級編）
	35	本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引）（基礎編）	80	本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引）（中級編）
	36	本支店会計②（決算）（基礎編）	81	本支店会計②（決算）（中級編）
	37	連結会計①（財務諸表）（基礎編）	82	連結会計①（財務諸表）（中級編）
	38	連結会計②（支配獲得日の連結手続き）（基礎編）	83	連結会計②（支配獲得日の連結手続き）（中級編）
	39	連結会計③（支配獲得後の連結手続き）（基礎編）	84	連結会計③（支配獲得後の連結手続き）（中級編）
	40	連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去）（基礎編）	85	連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去）（中級編）
	41	連結会計⑤（未実現利益の控除）（基礎編）	86	連結会計⑤（未実現利益の控除）（中級編）
	42	連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書）（基礎編）	87	連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書）（中級編）
	43	連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度）（基礎編）	88	連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度）（中級編）
	44	確認テスト（第1回）（基礎編）	89	確認テスト（第1回）（中級編）
	45	確認テスト（第2回）（基礎編）	90	確認テスト（第2回）（中級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	個別原価計算論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする。伝統的な個別原価計算の会計処理を中心に一部、総合原価計算についても学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	伝統的な個別原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	46	工業簿記の基礎（基礎編）復習
	2	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）	47	個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）復習
	3	材料費会計①（基礎編）	48	材料費会計①（基礎編）復習
	4	材料費会計②（基礎編）	49	材料費会計②（基礎編）復習
	5	材料費会計③（基礎編）	50	材料費会計③（基礎編）復習
	6	確認テスト①	51	確認テスト①復習
	7	労務費会計①（基礎編）	52	労務費会計①（基礎編）復習
	8	労務費会計②（基礎編）	53	労務費会計②（基礎編）復習
	9	労務費会計③（基礎編）	54	労務費会計③（基礎編）復習
	10	確認テスト②	55	確認テスト②復習
	11	経費会計①（基礎編）	56	経費会計①（基礎編）復習
	12	経費会計②（基礎編）	57	経費会計②（基礎編）復習
	13	経費会計③（基礎編）	58	経費会計③（基礎編）復習
	14	確認テスト③	59	確認テスト③復習
	15	製造間接費会計①（基礎編）	60	製造間接費会計①（基礎編）復習
	16	製造間接費会計②（基礎編）	61	製造間接費会計②（基礎編）復習
	17	確認テスト④	62	確認テスト④復習
	18	製造間接費差異の原因別分析①（基礎編）	63	製造間接費差異の原因別分析①（基礎編）復習
	19	製造間接費差異の原因別分析②（基礎編）	64	製造間接費差異の原因別分析②（基礎編）復習
	20	製造間接費差異の原因別分析③（基礎編）	65	製造間接費差異の原因別分析③（基礎編）復習
	21	確認テスト⑤	66	確認テスト⑤復習
	22	単純個別原価計算①（基礎編）	67	単純個別原価計算①（基礎編）復習
	23	単純個別原価計算②（基礎編）	68	単純個別原価計算②（基礎編）復習
	24	単純個別原価計算③（基礎編）	69	単純個別原価計算③（基礎編）復習
	25	単純個別原価計算④（基礎編）	70	単純個別原価計算④（基礎編）復習
	26	単純個別原価計算⑤（基礎編）	71	単純個別原価計算⑤（基礎編）復習
	27	確認テスト⑥	72	確認テスト⑥復習
	28	部門別計算①（基礎編）	73	部門別計算①（基礎編）復習
	29	部門別計算②（基礎編）	74	部門別計算②（基礎編）復習
	30	部門別計算③（基礎編）	75	部門別計算③（基礎編）復習
	31	部門別計算④（基礎編）	76	部門別計算④（基礎編）復習
	32	部門別計算⑤（基礎編）	77	部門別計算⑤（基礎編）復習
	33	部門別計算⑥（基礎編）	78	部門別計算⑥（基礎編）復習
	34	部門別計算⑦（基礎編）	79	部門別計算⑦（基礎編）復習
	35	確認テスト⑦	80	確認テスト⑦復習
	36	工企業の財務諸表①（基礎編）	81	工企業の財務諸表①（基礎編）復習
	37	工企業の財務諸表②（基礎編）	82	工企業の財務諸表②（基礎編）復習
	38	工企業の財務諸表③（基礎編）	83	工企業の財務諸表③（基礎編）復習
	39	工企業の財務諸表④（基礎編）	84	工企業の財務諸表④（基礎編）復習
	40	工企業の財務諸表⑤（基礎編）	85	工企業の財務諸表⑤（基礎編）復習
	41	確認テスト⑧	86	確認テスト⑧復習
	42	工場会計①（基礎編）	87	工場会計①（基礎編）復習
	43	工場会計②（基礎編）	88	工場会計②（基礎編）復習
	44	確認テスト	89	確認テスト復習
	45	総まとめテスト	90	総まとめテスト復習
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2 級総合 II			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	簿記 2 級検定合格程度の会計知識と計算技術の習得を目的とする。商企業・工企業の複雑な会計処理を問題演習を通じて、より詳細に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ①（中級編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ②（中級編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ③（中級編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ④（中級編）	46	総合問題演習⑦（テスト形式_中級編）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（中級編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式_中級編）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（中級編）	48	総合問題演習⑦（テスト形式_中級編）
	19	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_中級編）	49	総合問題演習⑧（テスト形式_中級編）
	20	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_中級編）	50	総合問題演習⑧（テスト形式_中級編）
	21	総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_中級編）	51	総合問題演習⑧（テスト形式_中級編）
	22	総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_中級編）	52	総合問題演習⑨（テスト形式_中級編）
	23	総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_中級編）	53	総合問題演習⑨（テスト形式_中級編）
	24	総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_中級編）	54	総合問題演習⑨（テスト形式_中級編）
	25	総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_中級編）	55	総合問題演習⑩（テスト形式_中級編）
	26	総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_中級編）	56	総合問題演習⑩（テスト形式_中級編）
	27	総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_中級編）	57	総合問題演習⑩（テスト形式_中級編）
	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	58	総合問題演習⑪（テスト形式_中級編）
	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	59	総合問題演習⑪（テスト形式_中級編）
	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）	60	総合問題演習⑪（テスト形式_中級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	高等商業簿記論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	現行基準の基礎となる会社会計の変遷を理解する事を目的とする。古くから存在する会計基準から最新の基準まで幅広く学習することで変遷を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	24	商品売買等①（入門編）
	2	有価証券（入門編）	25	商品売買等②（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	26	商品売買等③（入門編）
	4	有形固定資産（入門編）	27	工事契約（入門編）
	5	割引現在価値（入門編）	28	本支店会計①（入門編）
	6	リース取引①（入門編）	29	本支店会計②（入門編）
	7	リース取引②（入門編）	30	連結財務諸表総論（入門編）
	8	固定資産の減損（入門編）	31	資本連結（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	32	成果連結（入門編）
	10	繰延資産（入門編）	33	持分法（入門編）
	11	社債（入門編）	34	連結税効果会計（入門編）
	12	引当金①（入門編）	35	包括利益（入門編）
	13	引当金②（入門編）	36	在外子会社（入門編）
	14	退職給付①（入門編）	37	企業結合（入門編）
	15	退職給付②（入門編）	38	事業分離①（入門編）
	16	資産除去債務（入門編）	39	事業分離②（入門編）
	17	純資産（入門編）	40	キャッシュフロー計算書①（入門編）
	18	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）	41	キャッシュフロー計算書②（入門編）
	19	ストック・オプション（入門編）	42	キャッシュフロー計算書③（入門編）
	20	税効果会計①（入門編）	43	連結キャッシュフロー計算書①（入門編）
	21	税効果会計②（入門編）	44	連結キャッシュフロー計算書②（入門編）
	22	外貨建取引①（入門編）	45	連結キャッシュフロー計算書③（入門編）
	23	外貨建取引②（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	会計学		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	1・2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	9 0 単位時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	現行基準の理論体系の理解を目的とする。資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	有価証券（基礎編）	24 商品売買等③（基礎編）
	2	有形固定資産（基礎編）	25 商品売買等④（基礎編）
	3	リース取引①（基礎編）	26 資本連結①（基礎編）
	4	リース取引②（基礎編）	27 資本連結②（基礎編）
	5	固定資産の減損①（基礎編）	28 資本連結③（基礎編）
	6	固定資産の減損②（基礎編）	29 資本連結④（基礎編）
	7	退職給付①（基礎編）	30 資本連結⑤（基礎編）
	8	退職給付②（基礎編）	31 連結税効果会計①（基礎編）
	9	純資産（基礎編）	32 連結税効果会計②（基礎編）
	10	新株予約権と新株予約権付社債①（基礎編）	33 連結税効果会計③（基礎編）
	11	新株予約権と新株予約権付社債②（基礎編）	34 連結税効果会計④（基礎編）
	12	ストック・オプション①（基礎編）	35 連結税効果会計⑤（基礎編）
	13	ストック・オプション②（基礎編）	36 在外子会社、事業分離①（基礎編）
	14	税効果会計①（基礎編）	37 在外子会社、事業分離②（基礎編）
	15	税効果会計②（基礎編）	38 在外子会社、事業分離③（基礎編）
	16	税効果会計③（基礎編）	39 在外子会社、事業分離④（基礎編）
	17	税効果会計④（基礎編）	40 在外子会社、事業分離⑤（基礎編）
	18	外貨建取引①（基礎編）	41 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	19	外貨建取引②（基礎編）	42 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	20	外貨建取引③（基礎編）	43 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書③（基礎編）
	21	外貨建取引④（基礎編）	44 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書④（基礎編）
	22	商品売買等①（基礎編）	45 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書⑤（基礎編）
	23	商品売買等②（基礎編）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	高等工業会計論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1・2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	現行の工企業の記帳技術の知識を身につけることを目的とする。多様化する製造過程に対する様々な会計処理を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）	24	予算管理②（入門編）
	2	費目別計算①（入門編）	25	予算管理③（入門編）
	3	費目別計算②（入門編）	26	意思決定会計①（入門編）
	4	部門別計算①（入門編）	27	意思決定会計②（入門編）
	5	部門別計算②（入門編）	28	意思決定会計③（入門編）
	6	部門別計算③（入門編）	29	意思決定会計④（入門編）
	7	個別原価計算①（入門編）	30	意思決定会計⑤（入門編）
	8	個別原価計算②（入門編）	31	意思決定会計⑥（入門編）
	9	個別原価計算③（入門編）	32	意思決定会計⑦（入門編）
	10	総合原価計算①（入門編）	33	意思決定会計⑧（入門編）
	11	総合原価計算②（入門編）	34	工業簿記と原価計算まとめ①（入門編）
	12	総合原価計算③（入門編）	35	工業簿記と原価計算まとめ②（入門編）
	13	総合原価計算④（入門編）	36	工業簿記と原価計算まとめ③（入門編）
	14	標準原価計算①（入門編）	37	工業簿記と原価計算まとめ④（入門編）
	15	標準原価計算②（入門編）	38	工業簿記と原価計算まとめ⑤（入門編）
	16	標準原価計算③（入門編）	39	工業簿記と原価計算まとめ⑥（入門編）
	17	標準原価計算④（入門編）	40	工業簿記と原価計算まとめ⑦（入門編）
	18	標準原価計算⑤（入門編）	41	工業簿記と原価計算まとめ⑧（入門編）
	19	標準原価計算⑥（入門編）	42	工業簿記と原価計算まとめ⑨（入門編）
	20	直接原価計算（入門編）	43	工業簿記と原価計算まとめ⑩（入門編）
	21	短期利益計画①（入門編）	44	工業簿記と原価計算まとめ⑪（入門編）
	22	短期利益計画②（入門編）	45	工業簿記と原価計算まとめ⑫（入門編）
	23	予算管理①（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	高等原価計算論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1・2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	最新の原価管理理論の知識を身に付けることを目的とする。原価企画や活動原価計算など最新の原価管理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別原価計算①（基礎編）	24	予算管理④（基礎編）
	2	個別原価計算②（基礎編）	25	予算管理⑤（基礎編）
	3	部門別計算①（基礎編）	26	事業部制①（基礎編）
	4	部門別計算②（基礎編）	27	事業部制②（基礎編）
	5	総合原価計算①（基礎編）	28	事業部制③（基礎編）
	6	総合原価計算②（基礎編）	29	事業部制④（基礎編）
	7	総合原価計算③（基礎編）	30	事業部制⑤（基礎編）
	8	標準原価計算①（基礎編）	31	業務的意思決定①（基礎編）
	9	標準原価計算②（基礎編）	32	業務的意思決定②（基礎編）
	10	標準原価計算③（基礎編）	33	業務的意思決定③（基礎編）
	11	直接原価計算①（基礎編）	34	業務的意思決定④（基礎編）
	12	直接原価計算②（基礎編）	35	業務的意思決定⑤（基礎編）
	13	直接原価計算③（基礎編）	36	構造的意意思決定①（基礎編）
	14	直接原価計算④（基礎編）	37	構造的意意思決定②（基礎編）
	15	直接原価計算⑤（基礎編）	38	構造的意意思決定③（基礎編）
	16	短期利益計画①（基礎編）	39	構造的意意思決定④（基礎編）
	17	短期利益計画②（基礎編）	40	構造的意意思決定⑤（基礎編）
	18	短期利益計画③（基礎編）	41	戦略的原価計算①（基礎編）
	19	短期利益計画④（基礎編）	42	戦略的原価計算②（基礎編）
	20	短期利益計画⑤（基礎編）	43	戦略的原価計算③（基礎編）
	21	予算管理①（基礎編）	44	戦略的原価計算④（基礎編）
	22	予算管理②（基礎編）	45	戦略的原価計算⑤（基礎編）
	23	予算管理③（基礎編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1 級総合Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	簿記1級検定合格程度の会計知識と計算技術の習得を目的とする。会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	実際単純個別原価計算	31	総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）
	2	部門別計算	32	総合問題対策④（テスト形式の問題解説_基礎編）
	3	部門別個別原価計算	33	総合問題対策④（テスト形式の問題解説_基礎編）
	4	実際工程別総合原価計算①	34	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説_基礎編）
	5	実際工程別総合原価計算②	35	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説_基礎編）
	6	連産品原価の計算および追加加工の意思決定	36	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説_基礎編）
	7	標準総合原価計算（仕損費の処理）	37	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説_基礎編）
	8	標準総合原価計算（配合差異・歩留差異）	38	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説_基礎編）
	9	標準総合原価計算（原価差異の追加配賦）	39	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説_基礎編）
	10	標準個別原価計算	40	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説_基礎編）
	11	実際直接工程別総合原価計算	41	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説_基礎編）
	12	実際直接部門別個別原価計算	42	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説_基礎編）
	13	CVP分析	43	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説_基礎編）
	14	直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支）	44	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説_基礎編）
	15	直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達）	45	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説_基礎編）
	16	予算統制（予算財務諸表作成）	46	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	17	直接標準原価計算（営業利益の差異分析）	47	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	18	事業部の業績測定	48	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	19	業務的意思決定（原価分解、最適セールスミックス、新規注文の引受可否）	49	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	20	業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量）	50	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	21	構造的意意思決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資）	51	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	22	構造的意意思決定（差額キャッシュフローの計算）	52	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	23	戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資）	53	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	24	戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算）	54	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	25	戦略的原価計算（ライフサイクルコストニング、活動基準原価計算）	55	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）	56	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	27	総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）	57	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	28	総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）	58	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	29	総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）	59	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	30	総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）	60	総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）				
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論Ⅰ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳方法や計算知識の習得を目的とする。簿記一巡・会社会計を中心とした会計処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	46	保険金Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	47	保険金Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	48	保険金Ⅰ③（入門編）
	4	現金預金Ⅰ①（入門編）	49	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ②（入門編）	50	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ③（入門編）	51	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）
	7	債権債務Ⅰ①（入門編）	52	減損会計Ⅰ①（入門編）
	8	債権債務Ⅰ②（入門編）	53	減損会計Ⅰ②（入門編）
	9	債権債務Ⅰ③（入門編）	54	減損会計Ⅰ③（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	55	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	56	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	57	資産除去債務Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	58	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	59	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	60	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	61	リース会計Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	62	リース会計Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	63	リース会計Ⅰ③（入門編）
	19	ソフトウェアⅠ①（入門編）	64	試用販売Ⅰ①（入門編）
	20	ソフトウェアⅠ②（入門編）	65	試用販売Ⅰ②（入門編）
	21	ソフトウェアⅠ③（入門編）	66	試用販売Ⅰ③（入門編）
	22	貸倒れⅠ①（入門編）	67	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	23	貸倒れⅠ②（入門編）	68	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	24	貸倒れⅠ③（入門編）	69	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	25	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	70	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	26	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	71	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	27	退職給付会計Ⅰ③（入門編）	72	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	28	税金Ⅰ①（入門編）	73	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	29	税金Ⅰ②（入門編）	74	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	30	税金Ⅰ③（入門編）	75	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	31	社債Ⅰ①（入門編）	76	本支店会計Ⅰ①（入門編）
	32	社債Ⅰ②（入門編）	77	本支店会計Ⅰ②（入門編）
	33	社債Ⅰ③（入門編）	78	本支店会計Ⅰ③（入門編）
	34	純資産会計Ⅰ①（入門編）	79	組織再編会計Ⅰ①（入門編）
	35	純資産会計Ⅰ②（入門編）	80	組織再編会計Ⅰ②（入門編）
	36	純資産会計Ⅰ③（入門編）	81	組織再編会計Ⅰ③（入門編）
	37	有価証券Ⅰ①（入門編）	82	建設業会計Ⅰ①（入門編）
	38	有価証券Ⅰ②（入門編）	83	建設業会計Ⅰ②（入門編）
	39	有価証券Ⅰ③（入門編）	84	建設業会計Ⅰ③（入門編）
	40	税効果会計Ⅰ①（入門編）	85	繰延資産Ⅰ①（入門編）
	41	税効果会計Ⅰ②（入門編）	86	繰延資産Ⅰ②（入門編）
	42	税効果会計Ⅰ③（入門編）	87	連結会計Ⅰ①（入門編）
	43	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	88	連結会計Ⅰ②（入門編）
	44	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	89	連結会計Ⅰ③（入門編）
	45	確認テスト	90	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論 I			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務の知識習得を目的とする。企業会計原則を中心とした会計理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	60	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	61	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	62	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	63	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	64	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	65	分配可能額①（入門）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	66	分配可能額②（入門）
	22	社債（入門・基礎）	67	分配可能額③（入門）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	68	分配可能額④（入門）
	24	自己株式（入門・基礎）	69	分配可能額⑤（入門）
	25	配当（入門・基礎）	70	ストック・オプション①（入門）
	26	外形基準・租税公課（入門・基礎）	71	ストック・オプション②（入門）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	72	ストック・オプション③（入門）
	28	税効果会計（入門・基礎）	73	ストック・オプション④（入門）
	29	税効果注記（入門・基礎）	74	ストック・オプション⑤（入門）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	75	セール&リースバック①（入門）
	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）	76	セール&リースバック②（入門）
	32	減損会計（入門・基礎）	77	セール&リースバック③（入門）
	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）	78	セール&リースバック④（入門）
	34	圧縮記帳（入門・基礎）	79	セール&リースバック⑤（入門）
	35	外貨建取引（入門・基礎）	80	財務諸表等規則①（入門）
	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）	81	財務諸表等規則②（入門）
	37	繰延資産（入門・基礎）	82	財務諸表等規則③（入門）
	38	為替予約（入門・基礎）	83	財務諸表等規則④（入門）
	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）	84	財務諸表等規則⑤（入門）
	40	消費税等（入門・基礎）	85	負債①（入門）
	41	他勘定振替（入門・基礎）	86	負債②（入門）
	42	外貨建有価証券（入門・基礎）	87	負債③（入門）
	43	リース会計（入門・基礎）	88	負債④（入門）
	44	証券投資信託（入門・基礎）	89	負債⑤（入門）
	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）	90	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論総合演習		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	税理士試験簿記論合格程度の理論知識と計算技術の習得を目的とする。知識・技術を定着させるために問題演習を通じて学ぶ。		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	製造業会計Ⅰ①（入門編）	31
	2	製造業会計Ⅰ②（入門編）	32
	3	製造業会計Ⅰ③（入門編）	33
	4	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）	34
	5	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）	35
	6	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）	36
	7	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）	37
	8	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）	38
	9	圧縮記帳Ⅰ③（入門編）	39
	10	ストック・オプションⅠ①（入門編）	40
	11	ストック・オプションⅠ②（入門編）	41
	12	ストック・オプションⅠ③（入門編）	42
	13	商品売買Ⅱ①（入門編）	43
	14	商品売買Ⅱ②（入門編）	44
	15	固定資産Ⅱ①（入門編）	45
	16	固定資産Ⅱ②（入門編）	46
	17	退職給付会計Ⅱ①（入門編）	47
	18	退職給付会計Ⅱ②（入門編）	48
	19	試用販売Ⅱ①（入門編）	49
	20	試用販売Ⅱ②（入門編）	50
	21	割賦販売Ⅱ①（入門編）	51
	22	割賦販売Ⅱ②（入門編）	52
	23	本支店会計Ⅱ①（入門編）	53
	24	本支店会計Ⅱ②（入門編）	54
	25	組織再編会計Ⅱ①（入門編）	55
	26	組織再編会計Ⅱ②（入門編）	56
	27	連結会計Ⅱ①（入門編）	57
	28	連結会計Ⅱ②（入門編）	58
	29	連結会計Ⅱ③（入門編）	59
	30	確認テスト	60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合演習			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	税理士試験財務諸表論合格程度の理論知識と計算技術の習得を目的とする。知識・技術を定着させるために問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	純資産会計①（入門）	31	
	2	純資産会計②（入門）	32	
	3	純資産会計③（入門）	33	
	4	純資産会計④（入門）	34	
	5	純資産会計⑤（入門）	35	
	6	企業結合会計①（入門）	36	
	7	企業結合会計②（入門）	37	
	8	企業結合会計③（入門）	38	
	9	企業結合会計④（入門）	39	
	10	企業結合会計⑤（入門）	40	
	11	事業分離会計①（入門）	41	
	12	事業分離会計②（入門）	42	
	13	事業分離会計③（入門）	43	
	14	事業分離会計④（入門）	44	
	15	事業分離会計⑤（入門）	45	
	16	四半期財務諸表①（入門）	46	
	17	四半期財務諸表②（入門）	47	
	18	四半期財務諸表③（入門）	48	
	19	四半期財務諸表④（入門）	49	
	20	四半期財務諸表⑤（入門）	50	
	21	ヘッジ会計①（入門）	51	
	22	ヘッジ会計②（入門）	52	
	23	ヘッジ会計③（入門）	53	
	24	ヘッジ会計④（入門）	54	
	25	ヘッジ会計⑤（入門）	55	
	26	包括利益①（入門）	56	
	27	包括利益②（入門）	57	
	28	包括利益③（入門）	58	
	29	包括利益④（入門）	59	
	30	確認テスト	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法 I			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」などの法律等の知識習得を目的とする。売上げに係る消費税税額を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	課税仕入れの範囲④（入門編）
	2	課税の対象①（入門編）	32	課税仕入れの範囲⑤（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）	33	課税仕入れの範囲⑥（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）	34	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）	35	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	6	非課税①（入門編）	36	課税仕入れ等の時期③（入門編）
	7	非課税②（入門編）	37	課税仕入れ等の時期④（入門編）
	8	非課税③（入門編）	38	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）
	9	非課税④（入門編）	39	課税売上割合①（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）	40	課税売上割合②（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）	41	課税売上割合③（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）	42	課税売上割合④（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）	43	課税売上割合⑤（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）	44	課税売上割合⑥（入門編）
	15	確認テスト(理論)	45	課税売上割合⑦（入門編）
	16	控除対象仕入税額①（入門編）	46	課税期間における課税売上高①（入門編）
	17	控除対象仕入税額②（入門編）	47	課税期間における課税売上高②（入門編）
	18	控除対象仕入税額③（入門編）	48	課税期間における課税売上高③（入門編）
	19	控除対象仕入税額④（入門編）	49	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	20	控除対象仕入税額⑤（入門編）	50	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	21	控除対象仕入税額⑥（入門編）	51	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	22	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	52	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	23	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	53	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	24	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	54	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	25	貸倒れが生じた場合①（入門編）	55	納税義務の免除①（入門編）
	26	貸倒れが生じた場合②（入門編）	56	納税義務の免除②（入門編）
	27	貸倒れが生じた場合③（入門編）	57	納税義務の免除③（入門編）
	28	課税仕入れの範囲①（入門編）	58	納税義務の免除④（入門編）
	29	課税仕入れの範囲②（入門編）	59	納税義務の免除⑤（入門編）
	30	課税仕入れの範囲③（入門編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	企業法		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	2・3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	9 0 単位時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	私企業の存在と活動を規律する法の知識習得を目的とする。企業の組織・運営・取引を規制する会社法を中核として学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	企業法を体系的に理解できる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	個人企業と共同作業	24 変態設立事項に関する規制（現物出資）
	2	会社の概念	25 変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	3	法人性に関する諸問題	26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	4	4種類の会社	27 変態設立事項に関する規制（設立費用）
	5	株式会社の分類	28 設立無効の意義
	6	株式会社の本質的特徴	29 設立無効原因
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度	30 設立無効の訴えの制度
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度	31 株式の意義等
	9	会社設立に関する立法主義	32 株主の権利・義務
	10	株式会社の設立手続きの流れ	33 株主平等原則
	11	株式会社の設立の方法	34 株式の譲渡
	12	発起人の意義	35 自己株式の取得・処分等の制限
	13	発起人の資格	36 子会社による親会社株式の取得
	14	発起人の数	37 株券
	15	定款の意義	38 株主名簿
	16	定款の作成	39 株式担保
	17	定款の記載・記録事項	40 株式振替制度
	18	定款の備置き、閲覧・謄写	41 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	19	発起設立	42 端数の処理
	20	募集設立	43 単元株制度
	21	設立登記の手続き	44 株主等売渡請求の概要
	22	設立登記の効力	45 株主等売渡請求の手続き
	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	監査論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	2・3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	9 0 単位時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	財務諸表の監査証明証業務の枠組みや理論的裏付けを身に付けることを目的とする。監査基準を中心に、実務に直結する理論について学ぶ。		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	監査論を体系的に理解できる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	監査とは	24 財務諸表監査における不正の検討
	2	監査の分類	25 監査における不正リスク対応基準
	3	公認会計士の監査領域	26 財務諸表監査における法令の検討
	4	財務諸表の監査の必要性	27 グループ監査
	5	財務諸表の監査の機能	28 内部監査の利用
	6	監査の固有の限界	29 専門家の業務の利用
	7	二重責任の原則	30 監査証拠の十分性と適切性の評価
	8	財務諸表の作成責任	31 継続企業の前提とは
	9	財務諸表の作成基準	32 継続企業の前提に関する経営者の対応
	10	監査人	33 継続企業の前提に対する監査人の対応
	11	監査業務の一年の流れ	34 中間監査総論
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠	35 四半期レビュー制度
	13	監査手続き（監査技術）	36 特別目的会社の財務諸表の監査
	14	リスク・アプローチ	37 内部統制報告制度概要
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続	38 会計監査人監査制度概要
	16	IT（情報技術）	39 金融商品取引法による企業内容開示制度
	17	監査契約に係る予備的な活動	40 公認会計士法
	18	監査計画	41 公認会計士制度の創設・発足
	19	監査証拠の入手方法	42 倫理規則の趣旨及び精神
	20	監査上の重要性	43 保証業務概論
	21	特別な検討を必要とするリスク	44 保証業務の位置付け
	22	関連当事者との関係及び取引	45 公認会計士制度の創設・発足
	23	会計上の見積り	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経営学			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2・3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	60 単位時間			
授業コマ数	30 コマ			
授業概要	企業がいかに行動すべきかの知識習得を目的とする。戦略論・組織論の分野とファイナンス理論の分野について、より詳細に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経営学の計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	投資理論の基礎知識	16	バランスト・スコアカード（BSC）
	2	最適なポートフォリオの選択	17	デリバティブ
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）	18	先物取引
	4	債券評価	19	オプション取引
	5	裁定取引と効率的市場	20	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス	21	金利オプション
	7	企業財務論の目的	22	スワップ取引
	8	資本コスト	23	テイラーの科学的管理法
	9	最適資本構成	24	ファヨールの管理論
	10	プロジェクトの評価	25	人間関係論と近代モチベーション論
	11	配当政策（ペイアウト政策その1）	26	バーナード理論
	12	自社株買い（ペイアウト政策その2）	27	サイモン、マーチの理論
	13	財務情報分析	28	管理原則論
	14	M&Aにおける企業価値評価	29	組織構造論（各論）
	15	企業価値評価（バリエーション）	30	組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	租税法			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	租税法総論及び法人税法、所得税法などの租税実体法の知識習得を目的とする。法人税法を中心として、所得税法、消費税法などの構造を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	租税法に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	法人税法総則・課税標準	16	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）	17	法人税額の計算の基礎
	3	減価償却（普通償却）	18	使途秘匿金（追加課税される金額）
	4	租税公課及び納税充当金	19	外国税額控除
	5	受取配当等の益金不算入	20	貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合）
	6	繰延資産（概要）	21	欠損金の繰越控除・繰戻し還付
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入	22	収用等の特別控除（特別控除の適用要件）
	8	有価証券	23	圧縮記帳
	9	所得税額控除（原則法）	24	役員・使用人兼務役員の判定
	10	寄附金の損金不算入	25	役員給与（1 項基準額）
	11	減価償却（特別償却・概要）	26	使用人給与
	12	特別償却準備金	27	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	13	リース取引	28	みなし配当
	14	評価損益	29	グループ法人税制（概要）
	15	講義内演習・確認テスト	30	講義内演習・確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	管理会計論		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	2・3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	9 0 単位時間		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を身に付けることを目的とする。原価計算を基礎としつつ、意思決定会計と業績評価会計を中心に学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	管理会計に関する計算問題・理論問題の解答が出来る		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	管理会計論総論	24 部門別計算の意義・目的
	2	管理会計論の範囲	25 原価部門の設定
	3	原価計算の本質・意義	26 実際配賦（第1次集計）
	4	原価計算の基本思考	27 実際配賦（第2次集計）
	5	原価計算の目的	28 実際配賦（第3次集計）
	6	費目別計算総論	29 予定配賦
	7	原価の分類	30 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定
	8	材料費の計算	31 製造部門費配賦差異の算定
	9	材料費の分類	32 補助部門費の配賦
	10	労務費の計算	33 配賦基準（単一基準配賦法）
	11	労務費の計算	34 配賦基準（複数基準配賦法）
	12	経費の計算	35 配賦金額（実際発生額）
	13	経費の分類	36 配賦金額（予定配賦額）
	14	製造間接費の計算	37 配賦金額（予算許容額）
	15	製造間接費と配賦計算	38 個別原価計算総論
	16	配賦基準	39 製造指図書と原価計算表
	17	製造間接費の実際配賦	40 完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	18	製造間接費の予定配賦	41 単純個別原価計算
	19	製造間接費予算	42 ロット別個別原価計算
	20	配賦差異の算定	43 部門別個別原価計算の意義
	21	固定予算	44 個別原価計算における仕損の処理①
	22	公式法変動予算	45 個別原価計算における仕損の処理②
	23	実査法変動予算	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	企業の経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳・計算技術の習得を目的とする。簿記一巡・会社会計を中心とした会計処理を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	社債Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
	4	現金預金Ⅰ①（入門編）	34	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ②（入門編）	35	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ③（入門編）	36	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	7	債権債務Ⅰ①（入門編）	37	有価証券Ⅰ①（入門編）
	8	債権債務Ⅰ②（入門編）	38	有価証券Ⅰ②（入門編）
	9	債権債務Ⅰ③（入門編）	39	有価証券Ⅰ③（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	
	19	ソフトウェアⅠ①（入門編）	49	
	20	ソフトウェアⅠ②（入門編）	50	
	21	ソフトウェアⅠ③（入門編）	51	
	22	貸倒れⅠ①（入門編）	52	
	23	貸倒れⅠ②（入門編）	53	
	24	貸倒れⅠ③（入門編）	54	
	25	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	55	
	26	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	56	
	27	退職給付会計Ⅰ③（入門編）	57	
	28	税金Ⅰ①（入門編）	58	
	29	税金Ⅰ②（入門編）	59	
	30	税金Ⅰ③（入門編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務方法の習得を目的とする。企業会計原則を中心とした会計処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	確認テスト
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48	
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	
	22	社債（入門・基礎）	52	
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	
	24	自己株式（入門・基礎）	54	
	25	配当（入門・基礎）	55	
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論総合演習Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	1 年次		
開講学期	3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	4 5 単位時間		
授業コマ数	2 3 コマ		
授業概要	税理士試験簿記論合格程度の理論知識と計算技術の習得を目的とする。知識・技術を定着させるために問題演習を通じて学ぶ。		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	保険金Ⅰ①（入門編）	31
	2	保険金Ⅰ②（入門編）	32
	3	保険金Ⅰ③（入門編）	33
	4	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	34
	5	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	35
	6	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	36
	7	減損会計Ⅰ①（入門編）	37
	8	減損会計Ⅰ②（入門編）	38
	9	減損会計Ⅰ③（入門編）	39
	10	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	40
	11	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	41
	12	資産除去債務Ⅰ③（入門編）	42
	13	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	43
	14	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	44
	15	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	45
	16	リース会計Ⅰ①（入門編）	46
	17	リース会計Ⅰ②（入門編）	47
	18	リース会計Ⅰ③（入門編）	48
	19	試用販売Ⅰ①（入門編）	49
	20	試用販売Ⅰ②（入門編）	50
	21	割賦販売Ⅰ①（入門編）	51
	22	割賦販売Ⅰ②（入門編）	52
	23	確認テスト	53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合演習Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	後期			
科目区分	3 学期			
授業方法	演習・講義			
授業時間	4 5 単位時間			
授業コマ数	2 3 コマ			
授業概要	税理士試験財務諸表論合格程度の理論知識と計算技術の習得を目的とする。知識・技術を定着させるために問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ゴルフ会員権（入門・基礎）	31	
	2	売価還元法（入門・基礎）	32	
	3	製造業会計（入門・基礎）	33	
	4	研究開発費（入門・基礎）	34	
	5	新株予約権（入門・基礎）	35	
	6	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）	36	
	7	損益計算書総論（入門・基礎）	37	
	8	貸借対照表総論（入門・基礎）	38	
	9	資産総論（入門・基礎）	39	
	10	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）	40	
	11	連続意見書（入門・基礎）	41	
	12	引当金（入門・基礎）	42	
	13	会計観（入門・基礎）	43	
	14	金融商品（入門・基礎）	44	
	15	収益性の低下（入門・基礎）	45	
	16	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	46	
	17	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	47	
	18	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	48	
	19	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	49	
	20	分配可能額①（入門）	50	
	21	分配可能額②（入門）	51	
	22	分配可能額③（入門）	52	
	23	確認テスト	53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」に基づいた計算技術習得を目的とする。売上げに係る消費税額を中心とした処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	31	課税標準④（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	32	課税標準⑤（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	33	簡易課税制度①（入門編）
	4	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	34	簡易課税制度②（入門編）
	5	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	35	簡易課税制度③（入門編）
	6	課税仕入れ等の分類①（入門編）	36	簡易課税制度④（入門編）
	7	課税仕入れ等の分類②（入門編）	37	簡易課税制度⑤（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類③（入門編）	38	簡易課税制度⑥（入門編）
	9	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）	39	簡易課税制度⑦（入門編）
	10	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）	40	簡易課税制度⑧（入門編）
	11	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）	41	簡易課税制度⑨（入門編）
	12	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	42	簡易課税制度⑩（入門編）
	13	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	43	簡易課税制度⑪（入門編）
	14	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	44	簡易課税制度⑫（入門編）
	15	納税義務の免除の特例①（入門編）	45	確認テスト(理論)
	16	納税義務の免除の特例②（入門編）	46	
	17	納税義務の免除の特例③（入門編）	47	
	18	納税義務の免除の特例④（入門編）	48	
	19	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	49	
	20	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	50	
	21	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	51	
	22	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）	52	
	23	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）	53	
	24	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	54	
	25	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	55	
	26	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	56	
	27	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）	57	
	28	課税標準①（入門編）	58	
	29	課税標準②（入門編）	59	
	30	課税標準③（入門編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	一般常識			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	4 5 単位時間			
授業コマ数	2 3 コマ			
授業概要	日常的に利用する漢字能力を身に付けることを目的とする。ビジネスで一般に使用される熟語は勿論のこと四字熟語、慣用句なども学ぶ。			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語①（基礎編）	31	
	2	訓読み・送り仮名・熟語②（基礎編）	32	
	3	同音異義・異字同訓①（基礎編）	33	
	4	同音異義・異字同訓②（基礎編）	34	
	5	誤字訂正①（基礎編）	35	
	6	誤字訂正②（基礎編）	36	
	7	類義語①（基礎編）	37	
	8	反対語①（基礎編）	38	
	9	漢字の意味・使い方①（基礎編）	39	
	10	漢字の意味・使い方②（基礎編）	40	
	11	諺・故事成語・慣用句①(基礎編)	41	
	12	諺・故事成語・慣用句②(基礎編)	42	
	13	特殊な漢字の読み書き①(基礎編)	43	
	14	特殊な漢字の読み書き②(基礎編)	44	
	15	確認テスト①(基礎編)	45	
	16	項目別模擬試験①（基礎編）	46	
	17	項目別模擬試験②（基礎編）	47	
	18	項目別模擬試験③（基礎編）	48	
	19	直前模擬試験①（基礎編）	49	
	20	直前模擬試験②（基礎編）	50	
	21	直前模擬試験③（基礎編）	51	
	22	直前模擬試験④（基礎編）	52	
	23	直前模擬試験⑤（基礎編）	53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％ 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	電卓技能		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	通年		
科目区分	必修		
授業方法	実習・講義		
授業時間	4 5 単位時間		
授業コマ数	2 3 コマ		
授業概要	電卓技能の向上を目的とする。企業内でも多く活用されている電卓のスピード、正確性を高める実技練習を行う。		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い（基礎編）	31
	2	電卓演習①（基礎編）	32
	3	電卓演習②（基礎編）	33
	4	電卓演習③（基礎編）	34
	5	電卓演習④（基礎編）	35
	6	電卓演習⑤（基礎編）	36
	7	電卓演習⑥（基礎編）	37
	8	電卓演習⑦（基礎編）	38
	9	電卓演習⑧（基礎編）	39
	10	電卓演習⑨（基礎編）	40
	11	電卓演習⑩（基礎編）	41
	12	電卓演習⑪（基礎編）	42
	13	電卓演習⑫（基礎編）	43
	14	電卓演習⑬（基礎編）	44
	15	電卓演習⑭（基礎編）	45
	16	電卓演習⑮（基礎編）	46
	17	電卓演習⑯（基礎編）	47
	18	電卓演習⑰（基礎編）	48
	19	電卓演習⑱（基礎編）	49
	20	電卓演習⑲（基礎編）	50
	21	電卓演習⑳（基礎編）	51
	22	電卓演習㉑（基礎編）	52
	23	確認テスト（基礎編）	53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳方法や計算知識の習得を目的とする。帳簿組織を中心とした会計処理方法を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	未着品販売Ⅰ①（入門編）	31
	2	未着品販売Ⅰ②（入門編）	32
	3	未着品販売Ⅰ③（入門編）	33
	4	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）	34
	5	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）	35
	6	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）	36
	7	本支店会計Ⅰ①（入門編）	37
	8	本支店会計Ⅰ②（入門編）	38
	9	本支店会計Ⅰ③（入門編）	39
	10	組織再編会計Ⅰ①（入門編）	40
	11	組織再編会計Ⅰ②（入門編）	41
	12	組織再編会計Ⅰ③（入門編）	42
	13	建設業会計Ⅰ①（入門編）	43
	14	建設業会計Ⅰ②（入門編）	44
	15	建設業会計Ⅰ③（入門編）	45
	16	繰延資産Ⅰ①（入門編）	46
	17	繰延資産Ⅰ②（入門編）	47
	18	連結会計Ⅰ①（入門編）	48
	19	連結会計Ⅰ②（入門編）	49
	20	連結会計Ⅰ③（入門編）	50
	21	製造業会計Ⅰ①（入門編）	51
	22	製造業会計Ⅰ②（入門編）	52
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）	53
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）	54
	25	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）	55
	26	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）	56
	27	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）	57
	28	ストック・オプションⅠ①（入門編）	58
	29	ストック・オプションⅠ②（入門編）	59
	30	確認テスト	60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務諸表論Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務の知識習得を目的とする。純資産会計を中心とした会計理論を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	ストック・オプション①（入門）	31
	2	ストック・オプション②（入門）	32
	3	ストック・オプション③（入門）	33
	4	セール&リースバック①（入門）	34
	5	セール&リースバック②（入門）	35
	6	セール&リースバック③（入門）	36
	7	財務諸表等規則①（入門）	37
	8	財務諸表等規則②（入門）	38
	9	財務諸表等規則③（入門）	39
	10	負債①（入門）	40
	11	負債②（入門）	41
	12	負債③（入門）	42
	13	純資産会計①（入門）	43
	14	純資産会計②（入門）	44
	15	純資産会計③（入門）	45
	16	企業結合会計①（入門）	46
	17	企業結合会計②（入門）	47
	18	企業結合会計③（入門）	48
	19	事業分離会計①（入門）	49
	20	事業分離会計②（入門）	50
	21	事業分離会計③（入門）	51
	22	四半期財務諸表①（入門）	52
	23	四半期財務諸表②（入門）	53
	24	四半期財務諸表③（入門）	54
	25	ヘッジ会計①（入門）	55
	26	ヘッジ会計②（入門）	56
	27	ヘッジ会計③（入門）	57
	28	包括利益①（入門）	58
	29	包括利益②（入門）	59
	30	確認テスト	60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	消費税法Ⅲ		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	1学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」などの法律等の知識習得を目的とする。仕入に係る消費税額を中心とした税法理論を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	軽減税率①（入門編）	31
	2	軽減税率②（入門編）	32
	3	軽減税率③（入門編）	33
	4	軽減税率④（入門編）	34
	5	軽減税率⑤（入門編）	35
	6	軽減税率⑥（入門編）	36
	7	旧税率に関する経過措置①（入門編）	37
	8	旧税率に関する経過措置②（入門編）	38
	9	旧税率に関する経過措置③（入門編）	39
	10	旧税率に関する経過措置④（入門編）	40
	11	旧税率に関する経過措置⑤（入門編）	41
	12	旧税率に関する経過措置⑥（入門編）	42
	13	複数税率の場合の計算①（入門編）	43
	14	複数税率の場合の計算②（入門編）	44
	15	複数税率の場合の計算③（入門編）	45
	16	複数税率の場合の計算④（入門編）	46
	17	複数税率の場合の計算⑤（入門編）	47
	18	複数税率の場合の計算⑥（入門編）	48
	19	国等に対する特例①（入門編）	49
	20	国等に対する特例②（入門編）	50
	21	国等に対する特例③（入門編）	51
	22	国等に対する特例④（入門編）	52
	23	国等に対する特例⑤（入門編）	53
	24	国等に対する特例⑥（入門編）	54
	25	国等に対する特例⑦（入門編）	55
	26	国等に対する特例⑧（入門編）	56
	27	特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編）	57
	28	特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編）	58
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）	59
	30	確認テスト(理論)	60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	オフィス基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	ビジネスで活用できる操作能力を身に付けることを目的とする。会計データ作成などより実務に役立つ能力を身に付ける。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	基本的な入力操作や書式設定を理解する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	文章の作成と管理①	31	
	2	文章の作成と管理②	32	
	3	文章の作成と管理③	33	
	4	文章の作成と管理④	34	
	5	文章の作成と管理⑤	35	
	6	社内文書作成演習①	36	
	7	社内文書作成演習②	37	
	8	社外文書作成演習①	38	
	9	社外文書作成演習②	39	
	10	社外文書作成演習③	40	
	11	表作成の基本操作①	41	
	12	表作成の基本操作②	42	
	13	表作成の基本操作③	43	
	14	表作成の基本操作④	44	
	15	表作成の基本操作⑤	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	オフィス活用		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義・実習		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	PC操作の基本 特にエクセルの基本操作を身に付けることを目的とする。校内の P C を利用し、基本操作に関するトレーニングを行う。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	見やすく使いやすい表にする編集操作①	31
	2	見やすく使いやすい表にする編集操作②	32
	3	見やすく使いやすい表にする編集操作③	33
	4	見やすく使いやすい表にする編集操作④	34
	5	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤	35
	6	表作成の基本操作及び集計①	36
	7	表作成の基本操作及び集計②	37
	8	表作成の基本操作及び集計③	38
	9	表作成の基本操作及び集計④	39
	10	表作成の基本操作及び集計⑤	40
	11	グラフの作成演習①	41
	12	グラフの作成演習②	42
	13	グラフの作成演習③	43
	14	グラフの作成演習④	44
	15	グラフの作成演習⑤	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	文書の作成と管理①	31	
	2	文書の作成と管理②	32	
	3	文書の作成と管理③	33	
	4	文書の作成と管理④	34	
	5	文書の作成と管理⑤	35	
	6	文書の作成と管理⑥	36	
	7	数式・関数を活用した集計表の作成①	37	
	8	数式・関数を活用した集計表の作成②	38	
	9	数式・関数を活用した集計表の作成③	39	
	10	数式・関数を活用した集計表の作成④	40	
	11	数式・関数を活用した集計表の作成⑤	41	
	12	数式・関数を活用した集計表の作成⑥	42	
	13	ワークシート間の集計①	43	
	14	ワークシート間の集計②	44	
	15	ワークシート間の集計③	45	
	16	ワークシート間の集計④	46	
	17	ワークシート間の集計⑤	47	
	18	ワークシート間の集計⑥	48	
	19	グラフの基本①	49	
	20	グラフの基本②	50	
	21	グラフの基本③	51	
	22	グラフの基本④	52	
	23	グラフの基本⑤	53	
	24	グラフの基本⑥	54	
	25	目的に応じたグラフの作成と編集①	55	
	26	目的に応じたグラフの作成と編集②	56	
	27	目的に応じたグラフの作成と編集③	57	
	28	目的に応じたグラフの作成と編集④	58	
	29	目的に応じたグラフの作成と編集⑤	59	
	30	目的に応じたグラフの作成と編集⑥	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論Ⅳ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	7 0 単位時間			
授業コマ数	3 5 コマ			
授業概要	企業の経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳・計算技術の習得を目的とする。帳簿組織を中心とした会計処理を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	経営成績や財政状態を理解して記帳・計算技術を向上する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31	問題演習実践⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32	問題演習実践⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33	問題演習実践⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34	問題演習実践⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35	模擬試験
	6	基礎答練①（入門編）	36	
	7	基礎答練②（入門編）	37	
	8	基礎答練③（入門編）	38	
	9	基礎答練④（入門編）	39	
	10	基礎答練⑤（入門編）	40	
	11	応用答練①（入門編）	41	
	12	応用答練②（入門編）	42	
	13	応用答練③（入門編）	43	
	14	応用答練④（入門編）	44	
	15	応用答練⑤（入門編）	45	
	16	過去問演習①（入門編）	46	
	17	過去問演習②（入門編）	47	
	18	過去問演習③（入門編）	48	
	19	過去問演習④（入門編）	49	
	20	過去問演習⑤（入門編）	50	
	21	過去問演習⑥（入門編）	51	
	22	過去問演習⑦（入門編）	52	
	23	過去問演習⑧（入門編）	53	
	24	過去問演習⑨（入門編）	54	
	25	過去問演習⑩（入門編）	55	
	26	問題演習実践①（入門編）	56	
	27	問題演習実践②（入門編）	57	
	28	問題演習実践③（入門編）	58	
	29	問題演習実践④（入門編）	59	
	30	問題演習実践⑤（入門編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論Ⅳ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	7 0 単位時間			
授業コマ数	3 5 コマ			
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務方法の習得を目的とする。純資産会計を中心とした会計処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	経営成績や財政状態を理解して財務諸表の作成が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31	問題演習実践⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32	問題演習実践⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33	問題演習実践⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34	問題演習実践⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35	模擬試験
	6	基礎答練①（入門編）	36	
	7	基礎答練②（入門編）	37	
	8	基礎答練③（入門編）	38	
	9	基礎答練④（入門編）	39	
	10	基礎答練⑤（入門編）	40	
	11	応用答練①（入門編）	41	
	12	応用答練②（入門編）	42	
	13	応用答練③（入門編）	43	
	14	応用答練④（入門編）	44	
	15	応用答練⑤（入門編）	45	
	16	過去問演習①（入門編）	46	
	17	過去問演習②（入門編）	47	
	18	過去問演習③（入門編）	48	
	19	過去問演習④（入門編）	49	
	20	過去問演習⑤（入門編）	50	
	21	過去問演習⑥（入門編）	51	
	22	過去問演習⑦（入門編）	52	
	23	過去問演習⑧（入門編）	53	
	24	過去問演習⑨（入門編）	54	
	25	過去問演習⑩（入門編）	55	
	26	問題演習実践①（入門編）	56	
	27	問題演習実践②（入門編）	57	
	28	問題演習実践③（入門編）	58	
	29	問題演習実践④（入門編）	59	
	30	問題演習実践⑤（入門編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％ 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法Ⅳ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	7 0 単位時間			
授業コマ数	3 5 コマ			
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」に基づいた計算技術習得を目的とする。仕入れに係る消費税税額を中心とした処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策①（初級編）	31	総合問題演習⑥（初級編）
	2	総合問題対策②（初級編）	32	総合問題演習⑦（初級編）
	3	総合問題対策③（初級編）	33	総合問題演習⑧（初級編）
	4	総合問題対策④（初級編）	34	総合問題演習⑨（初級編）
	5	総合問題対策⑤（初級編）	35	総合問題演習⑩（初級編）
	6	総合問題対策⑥（初級編）	36	
	7	総合問題対策⑦（初級編）	37	
	8	総合問題対策⑧（初級編）	38	
	9	総合問題対策⑨（初級編）	39	
	10	総合問題対策⑩（初級編）	40	
	11	総合問題対策⑪（初級編）	41	
	12	総合問題対策⑫（初級編）	42	
	13	総合問題対策⑬（初級編）	43	
	14	総合問題対策⑭（初級編）	44	
	15	総合問題対策⑮（初級編）	45	
	16	総合問題対策⑯（初級編）	46	
	17	総合問題対策⑰（初級編）	47	
	18	総合問題対策⑱（初級編）	48	
	19	総合問題対策⑲（初級編）	49	
	20	総合問題対策⑳（初級編）	50	
	21	総合問題対策㉑（初級編）	51	
	22	総合問題対策㉒（初級編）	52	
	23	総合問題対策㉓（初級編）	53	
	24	総合問題対策㉔（初級編）	54	
	25	総合問題対策㉕（初級編）	55	
	26	総合問題演習①（初級編）	56	
	27	総合問題演習②（初級編）	57	
	28	総合問題演習③（初級編）	58	
	29	総合問題演習④（初級編）	59	
	30	総合問題演習⑤（初級編）	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	時事対策		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	1 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	4 0 単位時間		
授業コマ数	2 0 コマ		
授業概要	現代社会における主要な時事に関する知識習得を目的とする。朝日キーワードを中心とした時事の解説し学生が周辺知識を調べより理解を深める。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	世の中の身近な問題に触れ、研究することで、自分なりの物事の捉え方、これから先起こることを予測し、自身の日常生活、キャリアに活かす知識、分析力を身に付ける。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	時事用語知識①	31
	2	時事用語知識②	32
	3	時事用語知識③	33
	4	時事用語知識④	34
	5	時事用語知識⑤	35
	6	時事用語知識⑥	36
	7	時事用語知識⑦	37
	8	時事用語知識⑧	38
	9	時事用語知識⑨	39
	10	時事用語知識⑩	40
	11	時事用語知識⑪	41
	12	時事用語知識⑫	42
	13	時事用語知識⑬	43
	14	時事用語知識⑭	44
	15	時事用語知識⑮	45
	16	時事個人研究①	46
	17	時事個人研究②	47
	18	時事個人研究③	48
	19	時事個人研究④	49
	20	時事個人研究⑤	50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マナー接遇基礎			
実務家教員授業	○			
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。就職活動で必要とされる立ち振る舞いを中心に実践的なトレーニングを行う。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記	流通業界にて接客・販売業務に3年間携わっていた者が、実例を交えながら講義を実施			
授業計画	1	接遇マナーとは	31	
	2	接遇の心構え①	32	
	3	接遇の心構え②	33	
	4	お茶の入れ方、出し方①	34	
	5	お茶の入れ方、出し方②	35	
	6	お見送り①	36	
	7	お見送り②	37	
	8	後片付け	38	
	9	接遇の流れ①	39	
	10	接遇の流れ②	40	
	11	演習①	41	
	12	演習②	42	
	13	演習③	43	
	14	演習④	44	
	15	効果測定	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論Ⅴ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳方法や計算知識の習得を目的とする。結合会計（企業結合、会社再編、連結）を中心とした会計処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	保険金Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	保険金Ⅰ②（入門編）
	3	現金預金Ⅰ①（入門編）	33	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	4	現金預金Ⅰ②（入門編）	34	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	5	債権債務Ⅰ①（入門編）	35	減損会計Ⅰ①（入門編）
	6	債権債務Ⅰ②（入門編）	36	減損会計Ⅰ②（入門編）
	7	商品売買Ⅰ①（入門編）	37	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	8	商品売買Ⅰ②（入門編）	38	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	9	給料等Ⅰ①（入門編）	39	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	10	給料等Ⅰ②（入門編）	40	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	11	固定資産Ⅰ①（入門編）	41	リース会計Ⅰ①（入門編）
	12	固定資産Ⅰ②（入門編）	42	リース会計Ⅰ②（入門編）
	13	ソフトウェアⅠ①（入門編）	43	試用販売Ⅰ①（入門編）
	14	ソフトウェアⅠ②（入門編）	44	試用販売Ⅰ②（入門編）
	15	貸倒れⅠ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	貸倒れⅠ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	47	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	18	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	48	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	19	税金Ⅰ①（入門編）	49	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	20	税金Ⅰ②（入門編）	50	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	21	社債Ⅰ①（入門編）	51	本支店会計Ⅰ①（入門編）
	22	社債Ⅰ②（入門編）	52	本支店会計Ⅰ②（入門編）
	23	純資産会計Ⅰ①（入門編）	53	組織再編会計Ⅰ①（入門編）
	24	純資産会計Ⅰ②（入門編）	54	組織再編会計Ⅰ②（入門編）
	25	有価証券Ⅰ①（入門編）	55	建設業会計Ⅰ①（入門編）
	26	有価証券Ⅰ②（入門編）	56	建設業会計Ⅰ②（入門編）
	27	税効果会計Ⅰ①（入門編）	57	繰延資産Ⅰ（入門編）
	28	税効果会計Ⅰ②（入門編）	58	連結会計Ⅰ①（入門編）
	29	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	59	連結会計Ⅰ②（入門編）
	30	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論Ⅴ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務の知識習得を目的とする。連結会計を中心とした会計理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法Ⅴ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	1・2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」などの法律等の知識習得を目的とする。申告納付を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	課税仕入れの範囲④（入門編）
	2	課税の対象①（入門編）	32	課税仕入れの範囲⑤（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）	33	課税仕入れの範囲⑥（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）	34	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）	35	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	6	非課税①（入門編）	36	課税仕入れ等の時期③（入門編）
	7	非課税②（入門編）	37	課税仕入れ等の時期④（入門編）
	8	非課税③（入門編）	38	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）
	9	非課税④（入門編）	39	課税売上割合①（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）	40	課税売上割合②（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）	41	課税売上割合③（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）	42	課税売上割合④（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）	43	課税売上割合⑤（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）	44	課税売上割合⑥（入門編）
	15	確認テスト(理論)	45	課税売上割合⑦（入門編）
	16	控除対象仕入税額①（入門編）	46	課税期間における課税売上高①（入門編）
	17	控除対象仕入税額②（入門編）	47	課税期間における課税売上高②（入門編）
	18	控除対象仕入税額③（入門編）	48	課税期間における課税売上高③（入門編）
	19	控除対象仕入税額④（入門編）	49	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	20	控除対象仕入税額⑤（入門編）	50	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	21	控除対象仕入税額⑥（入門編）	51	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	22	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	52	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	23	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	53	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	24	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	54	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	25	貸倒れが生じた場合①（入門編）	55	納税義務の免除①（入門編）
	26	貸倒れが生じた場合②（入門編）	56	納税義務の免除②（入門編）
	27	貸倒れが生じた場合③（入門編）	57	納税義務の免除③（入門編）
	28	課税仕入れの範囲①（入門編）	58	納税義務の免除④（入門編）
	29	課税仕入れの範囲②（入門編）	59	納税義務の免除⑤（入門編）
	30	課税仕入れの範囲③（入門編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法 I			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	「相続税法」「租税特別措置法」「国税通則法」などの法律等の知識習得を目的とする。財産評価を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門） 相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	31	特定納税義務者の債務控除（入門）
	2	相続税法の概要（入門）	32	特定納税義務者の障害者控除（入門）
	3	相続税法と民法（入門）	33	贈与税額控除（精算）（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）	34	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）	35	自用家屋（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）	36	家屋と構造上一体となっている設備（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）	37	特別養子制度（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）	38	生命保険契約に関する権利（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）	39	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）
	10	生命保険金等（入門）	40	法定相続人の数（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）	41	本来の財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）	42	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）	43	地区区分の異なる宅地（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）	44	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）
	15	確認テスト(理論)	45	普通借地権（自用借地権）（入門）
	16	贈与税の概要（入門）	46	貸宅地（入門）
	17	贈与税の納税義務者（入門）	47	貸家建付地（入門）
	18	弔慰金等（入門）	48	貸家建付借地権（入門）
	19	債務控除（入門）	49	貸家（入門）
	20	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	50	一般動産（入門）
	21	相続時精算課税適用財産（入門）	51	たな卸商品等（入門）
	22	生前贈与加算相続税の総額（入門）	52	書画骨とう品（入門）
	23	算出相続税額の計算（入門）	53	預貯金（入門）
	24	相続税額の加算（入門）	54	上場株式（入門）
	25	贈与税額控除（暦年）（入門）	55	構築物（入門）
	26	配偶者の税額軽減（入門）	56	貸付金債権等（入門）
	27	未成年者控除（入門）	57	受取手形等（入門）
	28	障害者控除（入門）	58	間口が狭小な宅地等（入門）
	29	確認テスト①(理論)	59	角切り宅地の間口距離（入門）
	30	特定納税義務者（入門）	60	確認テスト②(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法 I			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1・2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	「法人税法」「租税特別措置法」「国税通則法」などの法律等の知識習得を目的とする。所得の算定を中心とした税法理論を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。 各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス（初級）	31	外貨建取引Ⅳ（基礎）
	2	納税義務者（初級）	32	有価証券Ⅰ（基礎）
	3	課税所得の範囲（初級）	33	有価証券Ⅱ（基礎）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（初級）	34	有価証券Ⅲ（基礎）
	5	減価償却Ⅰ（初級）	35	有価証券Ⅳ（基礎）
	6	減価償却Ⅱ（初級）	36	収用等Ⅰ（基礎）
	7	減価償却Ⅲ（初級）	37	収用等Ⅱ（基礎）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級）	38	収用等Ⅲ（基礎）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（初級）	39	収用等Ⅳ（基礎）
	10	租税公課等（初級）	40	所得税額控除Ⅰ（基礎）
	11	納税充当金Ⅰ（初級）	41	所得税額控除Ⅱ（基礎）
	12	納税充当金Ⅱ（初級）	42	所得税額控除Ⅲ（基礎）
	13	別表四の作成（初級）	43	所得税額控除Ⅳ（基礎）
	14	事業年度（初級）	44	国庫補助金等Ⅰ（基礎）
	15	確認テスト（理論）	45	国庫補助金等Ⅱ（基礎）
	16	貸倒損失Ⅰ（基礎）	46	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
	17	貸倒損失Ⅱ（基礎）	47	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
	18	貸倒損失Ⅲ（基礎）	48	別表五(一)の作成Ⅰ（基礎）
	19	貸倒損失Ⅳ（基礎）	49	別表五(一)の作成Ⅱ（基礎）
	20	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	50	別表五(一)の作成Ⅲ（基礎）
	21	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	51	別表五(一)の作成Ⅳ（基礎）
	22	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	52	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
	23	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	53	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
	24	欠損金Ⅰ（基礎）	54	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
	25	欠損金Ⅱ（基礎）	55	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
	26	欠損金Ⅲ（基礎）	56	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
	27	欠損金Ⅳ（基礎）	57	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
	28	外貨建取引Ⅰ（基礎）	58	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
	29	外貨建取引Ⅱ（基礎）	59	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
	30	外貨建取引Ⅲ（基礎）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	高等商業簿記論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	現行基準の基礎となる会社会計の変遷を理解する事を目的とする。古くから存在する会計基準から最新の基準まで幅広く学習することで変遷を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	31	資本連結（入門編）
	2	有価証券（入門編）	32	成果連結（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	33	持分法（入門編）
	4	有形固定資産（入門編）	34	連結税効果会計（入門編）
	5	割引現在価値（入門編）	35	包括利益（入門編）
	6	リース取引①（入門編）	36	在外子会社（入門編）
	7	リース取引②（入門編）	37	企業結合（入門編）
	8	固定資産の減損（入門編）	38	事業分離①（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	事業分離②（入門編）
	10	繰延資産（入門編）	40	キャッシュフロー計算書①（入門編）
	11	社債（入門編）	41	キャッシュフロー計算書②（入門編）
	12	引当金①（入門編）	42	キャッシュフロー計算書③（入門編）
	13	引当金②（入門編）	43	連結キャッシュフロー計算書①（入門編）
	14	退職給付①（入門編）	44	連結キャッシュフロー計算書②（入門編）
	15	退職給付②（入門編）	45	連結キャッシュフロー計算書③（入門編）
	16	資産除去債務（入門編）	46	
	17	純資産（入門編）	47	
	18	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）	48	
	19	ストック・オプション（入門編）	49	
	20	税効果会計①（入門編）	50	
	21	税効果会計②（入門編）	51	
	22	外貨建取引①（入門編）	52	
	23	外貨建取引②（入門編）	53	
	24	商品売買等①（入門編）	54	
	25	商品売買等②（入門編）	55	
	26	商品売買等③（入門編）	56	
	27	工事契約（入門編）	57	
	28	本支店会計①（入門編）	58	
	29	本支店会計②（入門編）	59	
	30	連結財務諸表総論（入門編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	現行基準の理論体系の理解を目的とする。資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	有価証券（基礎編）	31	連結税効果会計①（基礎編）
	2	有形固定資産（基礎編）	32	連結税効果会計②（基礎編）
	3	リース取引①（基礎編）	33	連結税効果会計③（基礎編）
	4	リース取引②（基礎編）	34	連結税効果会計④（基礎編）
	5	固定資産の減損①（基礎編）	35	連結税効果会計⑤（基礎編）
	6	固定資産の減損②（基礎編）	36	在外子会社、事業分離①（基礎編）
	7	退職給付①（基礎編）	37	在外子会社、事業分離②（基礎編）
	8	退職給付②（基礎編）	38	在外子会社、事業分離③（基礎編）
	9	純資産（基礎編）	39	在外子会社、事業分離④（基礎編）
	10	新株予約権と新株予約権付社債①（基礎編）	40	在外子会社、事業分離⑤（基礎編）
	11	新株予約権と新株予約権付社債②（基礎編）	41	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	ストック・オプション①（基礎編）	42	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	ストック・オプション②（基礎編）	43	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書③（基礎編）
	14	税効果会計①（基礎編）	44	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書④（基礎編）
	15	税効果会計②（基礎編）	45	キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書⑤（基礎編）
	16	税効果会計③（基礎編）	46	
	17	税効果会計④（基礎編）	47	
	18	外貨建取引①（基礎編）	48	
	19	外貨建取引②（基礎編）	49	
	20	外貨建取引③（基礎編）	50	
	21	外貨建取引④（基礎編）	51	
	22	商品売買等①（基礎編）	52	
	23	商品売買等②（基礎編）	53	
	24	商品売買等③（基礎編）	54	
	25	商品売買等④（基礎編）	55	
	26	資本連結①（基礎編）	56	
	27	資本連結②（基礎編）	57	
	28	資本連結③（基礎編）	58	
	29	資本連結④（基礎編）	59	
	30	資本連結⑤（基礎編）	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級総合Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	簿記1級検定合格程度の会計知識と計算技術の習得を目的とする。会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記1級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	実際単純個別原価計算	31	総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）
	2	部門別計算	32	総合問題対策④（テスト形式の問題解説_基礎編）
	3	部門別個別原価計算	33	総合問題対策④（テスト形式の問題解説_基礎編）
	4	実際工程別総合原価計算①	34	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説_基礎編）
	5	実際工程別総合原価計算②	35	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説_基礎編）
	6	連産品原価の計算および追加加工の意思決定	36	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説_基礎編）
	7	標準総合原価計算（仕損費の処理）	37	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説_基礎編）
	8	標準総合原価計算（配合差異・歩留差異）	38	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説_基礎編）
	9	標準総合原価計算（原価差異の追加配賦）	39	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説_基礎編）
	10	標準個別原価計算	40	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説_基礎編）
	11	実際直接工程別総合原価計算	41	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説_基礎編）
	12	実際直接部門別個別原価計算	42	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説_基礎編）
	13	CVP分析	43	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説_基礎編）
	14	直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支）	44	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説_基礎編）
	15	直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達）	45	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説_基礎編）
	16	予算統制（予算財務諸表作成）	46	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	17	直接標準原価計算（営業利益の差異分析）	47	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	18	事業部の業績測定	48	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	19	業務的意思決定（原価分解、最適セールスマックス、新規注文の引受可否）	49	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	20	業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量）	50	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	21	構造的意意思決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資）	51	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	22	構造的意意思決定（差額キャッシュフローの計算）	52	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	23	戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資）	53	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	24	戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算）	54	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	25	戦略的原価計算（ライフサイクルコストニング、活動基準原価計算）	55	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）	56	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	27	総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）	57	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	28	総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）	58	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	29	総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）	59	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	30	総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）	60	総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	1 ・ 2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。電話対応、接客、接遇などの基本ルールを学ぶ。		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	学校と職場の違い①	31
	2	学校と職場の違い②	32
	3	学校と職場の違い③	33
	4	職場のマナー①	34
	5	職場のマナー②	35
	6	職場のマナー③	36
	7	仕事の進め方①	37
	8	仕事の進め方②	38
	9	仕事の進め方③	39
	10	報告、連絡、相談①	40
	11	報告、連絡、相談②	41
	12	報告、連絡、相談③	42
	13	挨拶①	43
	14	挨拶②	44
	15	挨拶③	45
	16	笑顔、お辞儀①	46
	17	笑顔、お辞儀②	47
	18	笑顔、お辞儀③	48
	19	敬語①	49
	20	敬語②	50
	21	敬語③	51
	22	応対の基本①	52
	23	応対の基本②	53
	24	応対の基本③	54
	25	電話応対①	55
	26	電話応対②	56
	27	電話応対③	57
	28	効果測定①	58
	29	効果測定②	59
	30	効果測定③	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マナー接遇応用			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	基本的なビジネスマナーを身に付けることを目的とする。企業人として、最低限身に付けていなければならない立ち振舞いなどの実践的なトレーニングを行う。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	接遇マナーとは	31	
	2	接遇の心構え①	32	
	3	接遇の心構え②	33	
	4	接遇の心構え③	34	
	5	接遇の心構え④	35	
	6	接遇の心構え⑤	36	
	7	お茶の入れ方、出し方①	37	
	8	お茶の入れ方、出し方②	38	
	9	お茶の入れ方、出し方③	39	
	10	お茶の入れ方、出し方④	40	
	11	お茶の入れ方、出し方⑤	41	
	12	お見送り①	42	
	13	お見送り②	43	
	14	後片付け	44	
	15	接遇の流れ①	45	
	16	接遇の流れ②	46	
	17	接遇の流れ③	47	
	18	接遇の流れ④	48	
	19	演習①	49	
	20	演習②	50	
	21	演習③	51	
	22	演習④	52	
	23	演習⑤	53	
	24	演習⑥	54	
	25	演習⑦	55	
	26	演習⑧	56	
	27	演習⑨	57	
	28	演習⑩	58	
	29	効果測定①	59	
	30	効果測定②	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論VI			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	企業の経営成績や財政状態を決算書に表記するための記帳・計算技術の習得を目的とする。帳簿組織を中心とした会計処理を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要 I ①（入門編）	46	保険金 I ①（入門編）
	2	簿記の概要 I ②（入門編）	47	保険金 I ②（入門編）
	3	簿記の概要 I ③（入門編）	48	保険金 I ③（入門編）
	4	現金預金 I ①（入門編）	49	新株予約権付社債 I ①（入門編）
	5	現金預金 I ②（入門編）	50	新株予約権付社債 I ②（入門編）
	6	現金預金 I ③（入門編）	51	新株予約権付社債 I ③（入門編）
	7	債権債務 I ①（入門編）	52	減損会計 I ①（入門編）
	8	債権債務 I ②（入門編）	53	減損会計 I ②（入門編）
	9	債権債務 I ③（入門編）	54	減損会計 I ③（入門編）
	10	商品売買 I ①（入門編）	55	資産除去債務 I ①（入門編）
	11	商品売買 I ②（入門編）	56	資産除去債務 I ②（入門編）
	12	商品売買 I ③（入門編）	57	資産除去債務 I ③（入門編）
	13	給料等 I ①（入門編）	58	外貨建会計 I ①（入門編）
	14	給料等 I ②（入門編）	59	外貨建会計 I ②（入門編）
	15	給料等 I ③（入門編）	60	外貨建会計 I ③（入門編）
	16	固定資産 I ①（入門編）	61	リース会計 I ①（入門編）
	17	固定資産 I ②（入門編）	62	リース会計 I ②（入門編）
	18	固定資産 I ③（入門編）	63	リース会計 I ③（入門編）
	19	ソフトウェア I ①（入門編）	64	試用販売 I ①（入門編）
	20	ソフトウェア I ②（入門編）	65	試用販売 I ②（入門編）
	21	ソフトウェア I ③（入門編）	66	試用販売 I ③（入門編）
	22	貸倒れ I ①（入門編）	67	割賦販売 I ①（入門編）
	23	貸倒れ I ②（入門編）	68	割賦販売 I ②（入門編）
	24	貸倒れ I ③（入門編）	69	割賦販売 I ③（入門編）
	25	退職給付会計 I ①（入門編）	70	未着品販売 I ①（入門編）
	26	退職給付会計 I ②（入門編）	71	未着品販売 I ②（入門編）
	27	退職給付会計 I ③（入門編）	72	未着品販売 I ③（入門編）
	28	税金 I ①（入門編）	73	委託販売・受託販売 I ①（入門編）
	29	税金 I ②（入門編）	74	委託販売・受託販売 I ②（入門編）
	30	税金 I ③（入門編）	75	委託販売・受託販売 I ③（入門編）
	31	社債 I ①（入門編）	76	本支店会計 I ①（入門編）
	32	社債 I ②（入門編）	77	本支店会計 I ②（入門編）
	33	社債 I ③（入門編）	78	本支店会計 I ③（入門編）
	34	純資産会計 I ①（入門編）	79	組織再編会計 I ①（入門編）
	35	純資産会計 I ②（入門編）	80	組織再編会計 I ②（入門編）
	36	純資産会計 I ③（入門編）	81	組織再編会計 I ③（入門編）
	37	有価証券 I ①（入門編）	82	建設業会計 I ①（入門編）
	38	有価証券 I ②（入門編）	83	建設業会計 I ②（入門編）
	39	有価証券 I ③（入門編）	84	建設業会計 I ③（入門編）
	40	税効果会計 I ①（入門編）	85	繰延資産 I ①（入門編）
	41	税効果会計 I ②（入門編）	86	繰延資産 I ②（入門編）
	42	税効果会計 I ③（入門編）	87	連結会計 I ①（入門編）
	43	現在価値計算 I ①（入門編）	88	連結会計 I ②（入門編）
	44	現在価値計算 I ②（入門編）	89	連結会計 I ③（入門編）
	45	確認テスト	90	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論Ⅵ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	財務書類の作成、会計帳簿の記帳の代行その他財務に関する事務方法の習得を目的とする。純資産会計を中心とした会計処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	60	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	61	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	62	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	63	分配可能額①（入門）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	64	分配可能額②（入門）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	65	分配可能額③（入門）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	66	ストック・オプション①（入門）
	22	社債（入門・基礎）	67	ストック・オプション②（入門）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	68	ストック・オプション③（入門）
	24	自己株式（入門・基礎）	69	セール&リースバック①（入門）
	25	配当（入門・基礎）	70	セール&リースバック②（入門）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	71	セール&リースバック③（入門）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	72	財務諸表等規則①（入門）
	28	税効果会計（入門・基礎）	73	財務諸表等規則②（入門）
	29	税効果注記（入門・基礎）	74	財務諸表等規則③（入門）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	75	負債①（入門）
	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）	76	負債②（入門）
	32	減損会計（入門・基礎）	77	負債③（入門）
	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）	78	純資産会計①（入門）
	34	圧縮記帳（入門・基礎）	79	純資産会計②（入門）
	35	外貨建取引（入門・基礎）	80	企業結合会計①（入門）
	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）	81	企業結合会計②（入門）
	37	繰延資産（入門・基礎）	82	事業分離会計①（入門）
	38	為替予約（入門・基礎）	83	事業分離会計②（入門）
	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）	84	四半期財務諸表①（入門）
	40	消費税等（入門・基礎）	85	四半期財務諸表②（入門）
	41	他勘定振替（入門・基礎）	86	ヘッジ会計①（入門）
	42	外貨建有価証券（入門・基礎）	87	ヘッジ会計②（入門）
	43	リース会計（入門・基礎）	88	包括利益①（入門）
	44	証券投資信託（入門・基礎）	89	包括利益②（入門）
	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）	90	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法VI			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	「消費税法」「租税特別措置法」「国税通則法」に基づいた計算技術習得を目的とする。仕入に係る消費税税額を中心とした処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	46	軽減税率①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	47	軽減税率②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	48	軽減税率③（入門編）
	4	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	49	軽減税率④（入門編）
	5	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	50	軽減税率⑤（入門編）
	6	課税仕入れ等の分類①（入門編）	51	軽減税率⑥（入門編）
	7	課税仕入れ等の分類②（入門編）	52	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類③（入門編）	53	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	9	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）	54	旧税率に関する経過措置③（入門編）
	10	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）	55	旧税率に関する経過措置④（入門編）
	11	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）	56	旧税率に関する経過措置⑤（入門編）
	12	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	57	旧税率に関する経過措置⑥（入門編）
	13	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	58	複数税率の場合の計算①（入門編）
	14	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	59	複数税率の場合の計算②（入門編）
	15	納税義務の免除の特例①（入門編）	60	複数税率の場合の計算③（入門編）
	16	納税義務の免除の特例②（入門編）	61	複数税率の場合の計算④（入門編）
	17	納税義務の免除の特例③（入門編）	62	複数税率の場合の計算⑤（入門編）
	18	納税義務の免除の特例④（入門編）	63	複数税率の場合の計算⑥（入門編）
	19	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	64	国等に対する特例①（入門編）
	20	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	65	国等に対する特例②（入門編）
	21	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	66	国等に対する特例③（入門編）
	22	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）	67	国等に対する特例④（入門編）
	23	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）	68	国等に対する特例⑤（入門編）
	24	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	69	国等に対する特例⑥（入門編）
	25	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	70	国等に対する特例⑦（入門編）
	26	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	71	国等に対する特例⑧（入門編）
	27	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）	72	特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編）
	28	課税標準①（入門編）	73	特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編）
	29	課税標準②（入門編）	74	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	課税標準③（入門編）	75	確認テスト(理論)
	31	課税標準④（入門編）	76	総合問題対策①（初級編）
	32	課税標準⑤（入門編）	77	総合問題対策②（初級編）
	33	簡易課税制度①（入門編）	78	総合問題対策③（初級編）
	34	簡易課税制度②（入門編）	79	総合問題対策④（初級編）
	35	簡易課税制度③（入門編）	80	総合問題対策⑤（初級編）
	36	簡易課税制度④（入門編）	81	総合問題対策⑥（初級編）
	37	簡易課税制度⑤（入門編）	82	総合問題対策⑦（初級編）
	38	簡易課税制度⑥（入門編）	83	総合問題対策⑧（初級編）
	39	簡易課税制度⑦（入門編）	84	総合問題対策⑨（初級編）
	40	簡易課税制度⑧（入門編）	85	総合問題対策⑩（初級編）
	41	簡易課税制度⑨（入門編）	86	総合問題演習①（初級編）
	42	簡易課税制度⑩（入門編）	87	総合問題演習②（初級編）
	43	簡易課税制度⑪（入門編）	88	総合問題演習③（初級編）
	44	簡易課税制度⑫（入門編）	89	総合問題演習④（初級編）
	45	確認テスト(理論)	90	総合問題演習⑤（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続税法Ⅱ		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2年次		
開講学期	2・3学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	180単位時間		
授業コマ数	90コマ		
授業概要	「相続税法」「租税特別措置法」「国税通則法」に基づいた計算技術習得を目的とする。財産評価を中心とした処理方法を学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す 相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	使用貸借により借り受けた宅地等（入門）	46 贈与税が課税される場合（入門）
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等（入門）	47 相続税が課税される場合（入門）
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋（入門）	48 負担付遺贈・贈与（入門）
	4	小規模宅地等の減額①（入門）	49 贈与税の非課税財産（入門）
	5	小規模宅地等の減額②（入門）	50 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
	6	小規模宅地等の減額③（入門）	51 契約者貸付金等がある場合の保険金（入門）
	7	小規模宅地等の減額④（入門）	52 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（入門）
	8	小規模宅地等の減額⑤（入門）	53 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
	9	小規模宅地等の減額⑥（入門）	54 証券投資信託受益証券（入門）
	10	確認テスト①(理論)	55 ゴルフ会員権（入門）
	11	取引相場のない株式①（入門）	56 不動産投資信託証券（入門）
	12	取引相場のない株式②（入門）	57 措法70の非課税（入門）
	13	取引相場のない株式③（入門）	58 権利義務の承継（入門）
	14	取引相場のない株式④（入門）	59 贈与税の配偶者控除（入門）
	15	取引相場のない株式⑤（入門）	60 確認テスト③(理論)
	16	取引相場のない株式⑥（入門）	61 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎）
	17	取引相場のない株式⑦（入門）	62 未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）
	18	取引相場のない株式⑧（入門）	63 相次相続控除（基礎）
	19	取引相場のない株式⑨（入門）	64 増改築等があった場合（基礎）
	20	取引相場のない株式⑩（入門）	65 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）
	21	取引相場のない株式⑪（入門）	66 確認テスト①(理論)
	22	取引相場のない株式⑫（入門）	67 無道路地（基礎）
	23	取引相場のない株式⑬（入門）	68 定期借地権等（基礎）
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（入門）	69 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（入門）	70 土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権（入門）	71 造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（入門）	72 公社債（基礎）
	28	利用区分が異なる建物（入門）	73 雇用主が保険料を負担している場合（基礎）
	29	建築中の家屋（入門）	74 保険金の評価（基礎）
	30	不整形地（入門）	75 確認テスト②(理論)
	31	地積規模の大きな宅地（入門）	76 定期金に関する権利（基礎）
	32	がけ地等を有する宅地（入門）	77 保証期間付定期金に関する権利（基礎）
	33	旗竿状の宅地等（入門）	78 契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）
	34	容積率の異なる宅地（入門）	79 財産の所在（基礎）
	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（入門）	80 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）
	36	確認テスト②(理論)	81 相続税の外国税額控除（基礎）
	37	私道の用に供されている宅地（入門）	82 贈与税の外国税額控除（基礎）
	38	セットバックを必要とする宅地（入門）	83 確認テスト③(理論)
	39	上場株式（権利落）（入門）	84 養子の子の応用的な取扱い（基礎）
	40	株式の割り当てを受ける権利（入門）	85 農地等の相続税の納税猶予（基礎）
	41	宅地等の評価単位（入門）	86 非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）
	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林（入門）	87 非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）
	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（入門）	88 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）
	44	立木、立木の評価減（入門）	89 個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）
	45	配当期待権（入門）	90 確認テスト④(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	1 ・ 2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習 ・ 講義			
授業時間	1 8 0 単位時間			
授業コマ数	9 0 コマ			
授業概要	「法人税法」「租税特別措置法」「国税通則法」に基づいた計算技術習得を目的とする。所得の算定を中心とした処理方法を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する 連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定Ⅰ（入門）	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
	2	役員判定Ⅱ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
	3	役員給与Ⅰ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
	4	役員給与Ⅱ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
	5	使用人給与Ⅰ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
	6	使用人給与Ⅱ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
	7	特定資産の買換えⅠ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
	8	特定資産の買換えⅡ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
	9	外国税額控除Ⅰ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
	10	外国税額控除Ⅱ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
	13	みなし配当金Ⅰ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
	14	みなし配当金Ⅱ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
	15	資本等取引Ⅰ（入門）	60	確認テスト（理論）
	16	資本等取引Ⅱ（入門）	61	連結納税制度1（初級）
	17	交換差益Ⅰ（入門）	62	連結納税制度2（初級）
	18	交換差益Ⅱ（入門）	63	連結納税制度3（初級）
	19	別表五(二)Ⅰ（入門）	64	連結納税制度4（初級）
	20	別表五(二)Ⅱ（入門）	65	連結納税制度5（初級）
	21	リース取引Ⅰ（入門）	66	連結納税制度6（初級）
	22	リース取引Ⅱ（入門）	67	連結納税制度7（初級）
	23	繰延資産Ⅰ（入門）	68	連結納税制度8（初級）
	24	繰延資産Ⅱ（入門）	69	連結納税制度9（初級）
	25	確定決算型Ⅰ（入門）	70	連結納税制度10（初級）
	26	確定決算型Ⅱ（入門）	71	連結納税制度11（初級）
	27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	72	連結納税制度12（初級）
	28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	73	連結納税制度13（初級）
	29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	74	連結納税制度14（初級）
	30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	75	連結納税制度15（初級）
	31	保険料Ⅰ（入門）	76	連結納税制度16（初級）
	32	保険料Ⅱ（入門）	77	連結納税制度17（初級）
	33	設立事業年度Ⅰ（入門）	78	連結納税制度18（初級）
	34	設立事業年度Ⅱ（入門）	79	連結納税制度19（初級）
	35	組織再編税制Ⅰ（入門）	80	連結納税制度20（初級）
	36	組織再編税制Ⅱ（入門）	81	試験研究費の特別控除1（初級）
	37	工事の請負Ⅰ（入門）	82	試験研究費の特別控除2（初級）
	38	工事の請負Ⅱ（入門）	83	試験研究費の特別控除3（初級）
	39	修正申告Ⅰ（入門）	84	試験研究費の特別控除4（初級）
	40	修正申告Ⅱ（入門）	85	資産除去債務1（初級）
	41	税効果会計Ⅰ（入門）	86	資産除去債務2（初級）
	42	税効果会計Ⅱ（入門）	87	資産除去債務3（初級）
	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）	88	解散税制1（初級）
	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）	89	解散税制2（初級）
	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）	90	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	企業法			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	私企業の存在と活動を規律する法の知識習得を目的とする。企業の組織・運営・取引を規制する会社法を中核として学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	企業法を体系的に理解できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個人企業と共同作業	9	会社設立に関する立法主義
	2	会社の概念	10	株式会社の設立手続きの流れ
	3	法人性に関する諸問題	11	株式会社の設立の方法
	4	4種類の会社	12	発起人の意義
	5	株式会社の分類	13	発起人の資格
	6	株式会社の本質的特徴	14	発起人の数
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度	15	定款の意義
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経営学			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	企業がいかに行動すべきかの知識習得を目的とする。戦略論・組織論の分野とファイナンス理論の分野について、より詳細に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経営学を体系的に理解できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	投資理論の基礎知識	16	バランスト・スコアカード（BSC）
	2	最適なポートフォリオの選択	17	デリバティブ
	3	資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム）	18	先物取引
	4	債券評価	19	オプション取引
	5	裁定取引と効率的市場	20	オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成）
	6	マルチファクターモデルと行動ファイナンス	21	金利オプション
	7	企業財務論の目的	22	スワップ取引
	8	資本コスト	23	テイラーの科学的管理法
	9	最適資本構成	24	ファヨールの管理論
	10	プロジェクトの評価	25	人間関係論と近代モチベーション論
	11	配当政策（ペイアウト政策その1）	26	バーナード理論
	12	自社株買い（ペイアウト政策その2）	27	サイモン、マーチの理論
	13	財務情報分析	28	管理原則論
	14	M&Aにおける企業価値評価	29	組織構造論（各論）
	15	企業価値評価（バリエーション）	30	組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	監査論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	財務諸表の監査証明証業務の枠組みや理論的裏付けを身に付けることを目的とする。監査基準を中心に、実務に直結する理論について学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	監査論を体系的に理解できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	監査とは	9	財務諸表の作成基準
	2	監査の分類	10	監査人
	3	公認会計士の監査領域	11	監査業務の一年の流れ
	4	財務諸表の監査の必要性	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	5	財務諸表の監査の機能	13	監査手続き（監査技術）
	6	監査の固有の限界	14	リスク・アプローチ
	7	二重責任の原則	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
	8	財務諸表の作成責任		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	租税法			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	租税法総論及び法人税法、所得税法などの租税実体法の知識習得を目的とする。法人税法を中心として、所得税法、消費税法などの構造を問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	租税法に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	法人税法総則・課税標準	9	所得税額控除（原則法）
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）	10	寄附金の損金不算入
	3	減価償却（普通償却）	11	減価償却（特別償却・概要）
	4	租税公課及び納税充当金	12	特別償却準備金
	5	受取配当等の益金不算入	13	リース取引
	6	繰延資産（概要）	14	評価損益
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入	15	講義内演習・確認テスト
	8	有価証券		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	管理会計論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	1 2 0 単位時間			
授業コマ数	6 0 コマ			
授業概要	経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を身に付けることを目的とする。原価計算を基礎としつつ、意思決定会計と業績評価会計を中心に学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	管理会計に関する計算問題・理論問題の解答が出来る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	管理会計論総論	31	製造部門費配賦差異の算定
	2	管理会計論の範囲	32	補助部門費の配賦
	3	原価計算の本質・意義	33	配賦基準（単一基準配賦法）
	4	原価計算の基本思考	34	配賦基準（複数基準配賦法）
	5	原価計算の目的	35	配賦金額（実際発生額）
	6	費目別計算総論	36	配賦金額（予定配賦額）
	7	原価の分類	37	配賦金額（予算許容額）
	8	材料費の計算	38	個別原価計算総論
	9	材料費の分類	39	製造指図書と原価計算表
	10	労務費の計算	40	完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	11	労務費の計算	41	単純個別原価計算
	12	経費の計算	42	ロット別個別原価計算
	13	経費の分類	43	部門別個別原価計算の意義
	14	製造間接費の計算	44	個別原価計算における仕損の処理①
	15	製造間接費と配賦計算	45	個別原価計算における仕損の処理②
	16	配賦基準	46	総合原価計算総論
	17	製造間接費の実際配賦	47	総合原価計算
	18	製造間接費の予定配賦	48	直接材料費と加工費
	19	製造間接費予算	49	仕掛品の完成品換算
	20	配賦差異の算定	50	総合原価計算の種類
	21	固定予算	51	単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）
	22	公式法変動予算	52	単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）
	23	実査法変動予算	53	単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）
	24	部門別計算の意義・目的	54	単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）
	25	原価部門の設定	55	単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）
	26	実際配賦（第1次集計）	56	工程別総合原価計算の処理
	27	実際配賦（第2次集計）	57	工程別計算の計算手順（累加法）
	28	実際配賦（第3次集計）	58	工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）
	29	予定配賦	59	予定振替原価の利用
	30	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定	60	追加原材料の意義
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合演習			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	会計士短答式試験合格程度の理論知識と計算技術の習得を目的とする。知識・技術を定着させるために問題演習を通じて学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	公認会計士短答式試験の受験に必要な知識の定着を図る			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）①	24	企業法 択一式総合問題（中級編）②
	2	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）①	25	監査論 択一式総合問題（中級編）②
	3	管理会計 択一式総合問題（初級編）①	26	財務会計（計算） 択一式総合問題（中級編）③
	4	企業法 択一式総合問題（初級編）①	27	財務会計（理論） 択一式総合問題（中級編）③
	5	監査論 択一式総合問題（初級編）①	28	管理会計 択一式総合問題（中級編）③
	6	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）②	29	企業法 択一式総合問題（中級編）③
	7	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）②	30	監査論 択一式総合問題（中級編）③
	8	管理会計 択一式総合問題（初級編）②	31	財務会計（計算） 択一式応用問題（上級編）①
	9	企業法 択一式総合問題（初級編）②	32	財務会計（理論） 択一式応用問題（上級編）①
	10	監査論 択一式総合問題（初級編）②	33	管理会計 択一式応用問題（上級編）①
	11	財務会計（計算） 択一式総合問題（初級編）③	34	企業法 択一式応用問題（上級編）①
	12	財務会計（理論） 択一式総合問題（初級編）③	35	監査論 択一式応用問題（上級編）①
	13	管理会計 択一式総合問題（初級編）③	36	財務会計（計算） 択一式応用問題（上級編）②
	14	企業法 択一式総合問題（初級編）③	37	財務会計（理論） 択一式応用問題（上級編）②
	15	監査論 択一式総合問題（初級編）③	38	管理会計 択一式応用問題（上級編）②
	16	財務会計（計算） 択一式総合問題（中級編）①	39	企業法 択一式応用問題（上級編）②
	17	財務会計（理論） 択一式総合問題（中級編）①	40	監査論 択一式応用問題（上級編）②
	18	管理会計 択一式総合問題（中級編）①	41	財務会計（計算） 択一式応用問題（上級編）③
	19	企業法 択一式総合問題（中級編）①	42	財務会計（理論） 択一式応用問題（上級編）③
	20	監査論 択一式総合問題（中級編）①	43	管理会計 択一式応用問題（上級編）③
	21	財務会計（計算） 択一式総合問題（中級編）②	44	企業法 択一式応用問題（上級編）③
	22	財務会計（理論） 択一式総合問題（中級編）②	45	監査論 択一式応用問題（上級編）③
	23	管理会計 択一式総合問題（中級編）②		
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング概論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	マーケティングの基礎知識の習得を目的とする。環境に応じた仕入方法や物流の仕組みを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	マーケティングの必要性	31	
	2	顧客満足とは	32	
	3	マーケティングの4P、4C	33	
	4	製品、商品、サービスの違い	34	
	5	流通チャネル戦略、プロモーション戦略	35	
	6	マーケティングと会社の目的	36	
	7	財務知識①（決算書）	37	
	8	財務知識②（損益計算書、貸借対照表）	38	
	9	企業分析	39	
	10	事例研究	40	
	11	SSにおけるマーケティング	41	
	12	演習①（来店客分析）	42	
	13	演習②（商品分析）	43	
	14	演習③（企画立案）	44	
	15	まとめ	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング研究			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。連携企業からの指示に基づき、各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成。連携企業に対し企画発表会を実施、その後フィードバックをする。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	マーケティング実習の復習	31	
	2	企画案作成①	32	
	3	企画案作成②	33	
	4	企画案作成③	34	
	5	企画案作成④	35	
	6	企画案作成⑤	36	
	7	企画案作成⑥	37	
	8	企画案作成⑦	38	
	9	企画案作成⑧	39	
	10	プレゼンテーション①	40	
	11	プレゼンテーション②	41	
	12	プレゼンテーション③	42	
	13	プレゼンテーション④	43	
	14	マーケティングコンテスト①	44	
	15	マーケティングコンテスト②	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング実習			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2・3学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	マーケティングの知識・運用知識の習得を目的とする。各種マーケティング手法を活用した経営企画案を作成する。			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	テキスト、参考書			
特記				
授業計画	1	店舗データの理解	31	企画作成①
	2	マーケティングの流れ①	32	企画作成②
	3	マーケティングの流れ②	33	企画作成③
	4	売上構成分析①	34	様々なマーケティング①
	5	売上構成分析②	35	様々なマーケティング②
	6	売上構成分析③	36	店舗見学①
	7	来店客分析①	37	店舗見学②
	8	来店客分析②	38	店舗見学③
	9	来店客分析③	39	店舗見学④
	10	来店客分析④	40	店舗見学⑤
	11	商品分析①	41	店舗見学⑥
	12	商品分析②	42	店舗見学⑦
	13	商品分析③	43	仮説①
	14	商品分析④	44	仮説②
	15	商品分析⑤	45	調査・検証①
	16	費用分析①	46	調査・検証②
	17	費用分析②	47	調査・検証③
	18	課題抽出①	48	調査・検証④
	19	課題抽出②	49	調査・検証⑤
	20	課題抽出③	50	調査・検証⑥
	21	課題抽出④	51	企画案作成①
	22	課題抽出⑤	52	企画案作成②
	23	課題抽出⑥	53	企画案作成③
	24	課題抽出⑦	54	企画案作成④
	25	課題抽出⑧	55	企画案作成⑤
	26	アンケート調査分析①	56	学内コンテストの実施①
	27	アンケート調査分析②	57	学内コンテストの実施②
	28	アンケート調査分析③	58	学内コンテストの実施③
	29	アンケート調査分析④	59	再検証①
	30	アンケート調査分析⑤	60	再検証②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	プログラム言語論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 4 0 単位時間			
授業コマ数	1 2 0 コマ			
授業概要	各プログラム言語でのシステム開発に必要な知識習得を目的とする。各種言語の応用的内容を含めた、システム開発に必要な知識を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	プログラミング言語全般において、基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	基本的な構成	31	構造体
	2	フリーフォーマット	32	共用体
	3	書式の統一	33	ポインタ
	4	作成から実行	34	ポインタと配列
	5	printf関数と文字	35	ポインタ配列
	6	変数と型	36	ファイル処理
	7	書式制御文字列	37	自作関数
	8	入力とscanf関数	38	関数間のデータの受け渡し
	9	算術演算子	39	構造体と関数
	10	代入演算子	40	関数ポインタ
	11	複合代入演算子	41	プリプロセッサ
	12	論理演算子	42	ライブラリ関数
	13	シフト演算子	43	クライアントサーバ通信
	14	ビット演算子	44	スレッドの生成
	15	キャスト演算子	45	スレッドプログラムの利用
	16	二分岐	46	送信専用スレッド
	17	多分岐	47	受診専用スレッド
	18	while文	48	サーバ特有の問題
	19	do～while文	49	リスト処理の利用
	20	for文	50	切断クライアントのソケット管理
	21	break文とcontinue文	51	演習問題
	22	一次元配列	52	演習問題
	23	二次元配列	53	演習問題
	24	文字列とは	54	演習問題
	25	文字列の入力	55	演習問題
	26	アドレスの指定	56	演習問題
	27	演習問題	57	演習問題
	28	演習問題	58	演習問題
	29	演習問題	59	演習問題
	30	演習問題	60	演習問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	プログラム言語論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	2 4 0 単位時間			
授業コマ数	1 2 0 コマ			
授業概要	各プログラム言語でのシステム開発に必要な知識習得を目的とする。各種言語の応用的内容を含めた、システム開発に必要な知識を学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	プログラミング言語全般において、基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	61	Javaの概要（１）	91	Javaの概要（１）演習
	62	Javaの概要（２）	92	Javaの概要（２）演習
	63	Javaの言語仕様（１）	93	Javaの言語仕様（１）演習
	64	Javaの言語仕様（２）	94	Javaの言語仕様（２）演習
	65	クラス（１）	95	クラス（１）演習
	66	クラス（２）	96	クラス（２）演習
	67	クラス（３）	97	クラス（３）演習
	68	クラスと継承（１）	98	クラスと継承（１）演習
	69	クラスと継承（２）	99	クラスと継承（２）演習
	70	クラスと継承（３）	100	クラスと継承（３）演習
	71	クラスライブラリ（１）	101	クラスライブラリ（１）演習
	72	クラスライブラリ（２）	102	クラスライブラリ（２）演習
	73	クラスライブラリ（３）	103	クラスライブラリ（３）演習
	74	例外処理（１）	104	例外処理（１）演習
	75	例外処理（２）	105	例外処理（２）演習
	76	例外処理（３）	106	例外処理（３）演習
	77	入出力処理（１）	107	入出力処理（１）演習
	78	入出力処理（２）	108	入出力処理（２）演習
	79	入出力処理（３）	109	入出力処理（３）演習
	80	マルチスレッド（１）	110	マルチスレッド（１）演習
	81	マルチスレッド（２）	111	マルチスレッド（２）演習
	82	マルチスレッド（３）	112	マルチスレッド（３）演習
	83	ジェネリクス・ラムダ式（１）	113	ジェネリクス・ラムダ式（１）演習
	84	ジェネリクス・ラムダ式（２）	114	ジェネリクス・ラムダ式（２）演習
	85	Swing（１）	115	Swing（１）演習
	86	Swing（２）	116	Swing（２）演習
	87	Swing（３）	117	Swing（３）演習
	88	DB接続（１）	118	DB接続（１）演習
	89	DB接続（２）	119	DB接続（２）演習
	90	DB接続（３）	120	DB接続（３）演習
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	システム設計開発論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	2 4 0 単位時間			
授業コマ数	1 2 0 コマ			
授業概要	システム開発能力を身に付けることを目的とする。連携企業からの指示に基づき、設計開発および企業へのプレゼンテーションまで実施する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	システム設計開発全般において、基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企画書の作成 1	31	要求レビュー 1
	2	企画書の作成 2	32	要求レビュー 2
	3	企画書の作成 3	33	要求レビュー 3
	4	企画書の作成 4	34	要求レビュー 4
	5	中間発表準備 1	35	要求レビュー 5
	6	中間発表準備 2	36	中間発表準備 1
	7	中間発表準備 3	37	中間発表準備 2
	8	中間発表 1	38	中間発表準備 3
	9	ドメインモデリングの理論	39	中間発表準備 4
	10	ドメインモデリングの実践	40	中間発表
	11	ドメインモデリング分析 1	41	ロバストネス分析の理論
	12	ドメインモデリング分析 2	42	ロバストネス分析の実践
	13	ユースケースモデリングの理論	43	ロバストネス分析 1
	14	ユースケースモデリングの実践	44	ロバストネス分析 2
	15	ユースケースモデリング分析 1	45	ロバストネス分析 3
	16	ユースケースモデリング分析 2	46	ロバストネス分析 4
	17	ユースケースモデリング分析 3	47	ロバストネス分析 5
	18	ユースケースモデリング分析 4	48	ロバストネス分析 6
	19	ユースケースモデリング分析 5	49	ロバストネス分析 7
	20	ユースケースモデリング分析 6	50	ロバストネス分析 8
	21	ユースケースモデリング分析 7	51	ロバストネス分析 9
	22	ユースケースモデリング分析 8	52	ロバストネス分析 1 0
	23	ユースケースモデリング分析 9	53	ロバストネス分析 1 1
	24	ユースケースモデリング分析 1 0	54	ロバストネス分析 1 2
	25	ユースケースモデリング分析 1 1	55	ロバストネス分析 1 3
	26	ユースケースモデリング分析 1 2	56	ロバストネス分析 1 4
	27	ユースケースモデリング分析 1 3	57	ロバストネス分析 1 5
	28	ユースケースモデリング分析 1 4	58	ロバストネス分析 1 6
	29	要求レビューの理論	59	予備設計レビューの理論
	30	要求レビューの実践	60	予備設計レビューの実践
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	システム設計開発論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 ・ 3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	2 4 0 単位時間			
授業コマ数	1 2 0 コマ			
授業概要	システム開発能力を身に付けることを目的とする。連携企業からの指示に基づき、設計開発および企業へのプレゼンテーションまで実施する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	システム設計開発全般において、基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	61	予備設計レビュー 1	91	シーケンス図作成 1 1
	62	予備設計レビュー 2	92	シーケンス図作成 1 2
	63	予備設計レビュー 3	93	シーケンス図作成 1 3
	64	予備設計レビュー 4	94	シーケンス図作成 1 4
	65	予備設計レビュー 5	95	シーケンス図作成 1 5
	66	予備設計レビュー 6	96	シーケンス図作成 1 6
	67	予備設計レビュー 7	97	詳細設計レビューの理論
	68	予備設計レビュー 8	98	詳細設計レビューの実践
	69	予備設計レビュー 9	99	詳細設計レビュー 1
	70	予備設計レビュー 1 0	100	詳細設計レビュー 2
	71	予備設計レビュー 1 1	101	詳細設計レビュー 3
	72	予備設計レビュー 1 2	102	詳細設計レビュー 4
	73	予備設計レビュー 1 3	103	詳細設計レビュー 5
	74	予備設計レビュー 1 4	104	詳細設計レビュー 6
	75	予備設計レビュー 1 5	105	詳細設計レビュー 7
	76	予備設計レビュー 1 6	106	詳細設計レビュー 8
	77	テクニカルアーキテクチャの理論	107	詳細設計レビュー 9
	78	テクニカルアーキテクチャの実践	108	詳細設計レビュー 1 0
	79	シーケンス図作成の理論	109	詳細設計レビュー 1 1
	80	シーケンス図作成の実践	110	詳細設計レビュー 1 2
	81	シーケンス図作成 1	111	詳細設計レビュー 1 3
	82	シーケンス図作成 2	112	詳細設計レビュー 1 4
	83	シーケンス図作成 3	113	詳細設計レビュー 1 5
	84	シーケンス図作成 4	114	詳細設計レビュー 1 6
	85	シーケンス図作成 5	115	詳細設計レビュー 1 7
	86	シーケンス図作成 6	116	詳細設計レビュー 1 8
	87	シーケンス図作成 7	117	詳細設計からコードへ
	88	シーケンス図作成 8	118	実装の実践
	89	シーケンス図作成 9	119	プログラミングコンテスト①
	90	シーケンス図作成 1 0	120	プログラミングコンテスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	接客マナー実践			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。電話対応、接客、接客などの実践的なトレーニングを行う。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	企業内での接客に関する基本的な所作を演習し、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	接客マナーとは	31	演習①
	2	接客の心構え①	32	演習②
	3	接客の心構え②	33	演習③
	4	接客の心構え③	34	演習④
	5	接客の心構え④	35	演習⑤
	6	接客の心構え⑤	36	演習⑥
	7	接客の心構え⑥	37	演習⑦
	8	接客の心構え⑦	38	演習⑧
	9	お茶の入れ方、出し方①	39	演習⑨
	10	お茶の入れ方、出し方②	40	演習⑩
	11	お茶の入れ方、出し方③	41	演習⑪
	12	お茶の入れ方、出し方④	42	演習⑫
	13	お茶の入れ方、出し方⑤	43	演習⑬
	14	お茶の入れ方、出し方⑥	44	演習⑭
	15	お見送り①	45	演習⑮
	16	お見送り②	46	演習⑯
	17	お見送り③	47	演習⑰
	18	お見送り④	48	演習⑱
	19	お見送り⑤	49	演習⑲
	20	後片付け	50	演習⑳
	21	接客の流れ①	51	演習㉑
	22	接客の流れ②	52	演習㉒
	23	接客の流れ③	53	演習㉓
	24	接客の流れ④	54	演習㉔
	25	接客の流れ⑤	55	演習㉕
	26	接客の流れ⑥	56	演習㉖
	27	接客の流れ⑦	57	演習㉗
	28	接客の流れ⑧	58	演習㉘
	29	接客の流れ⑨	59	効果測定①
	30	接客の流れ⑩	60	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	文書の作成と管理①	31	ピボットテーブル④
	2	文書の作成と管理②	32	ピボットテーブル⑤
	3	文書の作成と管理③	33	ピボットテーブル⑥
	4	文書の作成と管理④	34	ピボットテーブル⑦
	5	文書の作成と管理⑤	35	ピボットテーブル⑧
	6	文書の作成と管理⑥	36	マクロによる作業の自動化①
	7	文書の作成と管理⑦	37	マクロによる作業の自動化②
	8	文書の作成と管理⑧	38	マクロによる作業の自動化③
	9	文書の作成と管理⑨	39	マクロによる作業の自動化④
	10	データベース機能の利用①	40	マクロによる作業の自動化⑤
	11	データベース機能の利用②	41	マクロによる作業の自動化⑥
	12	データベース機能の利用③	42	マクロによる作業の自動化⑦
	13	データベース機能の利用④	43	マクロによる作業の自動化⑧
	14	データベース機能の利用⑤	44	マクロによる作業の自動化⑨
	15	データベース機能の利用⑥	45	マクロによる作業の自動化⑩
	16	データベース機能の利用⑦	46	
	17	データベース機能の利用⑧	47	
	18	データベース機能の利用⑨	48	
	19	データベース機能の利用⑩	49	
	20	データの抽出①	50	
	21	データの抽出②	51	
	22	データの抽出③	52	
	23	データの抽出④	53	
	24	データの抽出⑤	54	
	25	データの抽出⑥	55	
	26	データの抽出⑦	56	
	27	データの抽出⑧	57	
	28	ピボットテーブル①	58	
	29	ピボットテーブル②	59	
	30	ピボットテーブル③	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	実務会計実習			
実務家教員授業	○			
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	商企業を前提とした事務手続きに必要な知識習得を目的とする。商品の発注・受注から納品・請求までの一連の事務手続きについて学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記	会計事務所にて7年間実務を経験したものが、証憑書類作成に関する実例を交えながら講義を実施			
授業計画	1	売上事務の流れ	31	仕入管理の記帳①
	2	納品書の作成と売上計上①	32	仕入管理の記帳②
	3	納品書の作成と売上計上②	33	仕入管理の記帳③
	4	納品書の作成と売上計上③	34	仕入管理の記帳④
	5	納品書の作成と売上計上④	35	仕入管理の記帳⑤
	6	納品書の作成と売上計上⑤	36	仕入代金の支払いと買掛金管理①
	7	納品書の作成と売上計上⑥	37	仕入代金の支払いと買掛金管理②
	8	納品書の作成と売上計上⑦	38	仕入代金の支払いと買掛金管理③
	9	納品書の作成と売上計上⑧	39	仕入代金の支払いと買掛金管理④
	10	納品書の作成と売上計上⑨	40	仕入代金の支払いと買掛金管理⑤
	11	納品書の作成と売上計上⑩	41	各種書類の作成演習①
	12	納品書の作成と売上計上⑪	42	各種書類の作成演習②
	13	納品書の作成と売上計上⑫	43	各種書類の作成演習③
	14	請求書の作成と代金回収管理①	44	各種書類の作成演習④
	15	請求書の作成と代金回収管理②	45	各種書類の作成演習⑤
	16	請求書の作成と代金回収管理③	46	
	17	請求書の作成と代金回収管理④	47	
	18	請求書の作成と代金回収管理⑤	48	
	19	請求書の作成と代金回収管理⑥	49	
	20	請求書の作成と代金回収管理⑦	50	
	21	請求書の作成と代金回収管理⑧	51	
	22	複数の得意先との取引①	52	
	23	複数の得意先との取引②	53	
	24	複数の得意先との取引③	54	
	25	複数の得意先との取引④	55	
	26	複数の得意先との取引⑤	56	
	27	複数の得意先との取引⑥	57	
	28	複数の得意先との取引⑦	58	
	29	複数の得意先との取引⑧	59	
	30	仕入事務の流れ	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経理事務総合			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習・講義			
授業時間	9 0 単位時間			
授業コマ数	4 5 コマ			
授業概要	商業実務分野の実務において、経理職および事務職に求められる、基礎知識（各種社会保険料の算定、源泉所得税算定、年末調整方法等）および事務手続きを、企業等との連携により、より実践的に修得することを目的として講義・演習を行なう。演習においては、証憑書類・帳簿・申告書等の作成を中心に行う。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	税理士による税務に関する基礎知識講義	31	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤
	2	所得税の基礎知識①	32	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥
	3	所得税の基礎知識②	33	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑦
	4	所得税の基礎知識③	34	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑧
	5	所得税の基礎知識④	35	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑨
	6	所得税の基礎知識⑤	36	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑩
	7	所得税の基礎知識⑥	37	労働保険の概要及び会計処理①
	8	年末調整のしかた①	38	労働保険の概要及び会計処理②
	9	年末調整のしかた②	39	労働保険の概要及び会計処理③
	10	年末調整のしかた③	40	労働保険の概要及び会計処理④
	11	年末調整のしかた④	41	労働保険の概要及び会計処理⑤
	12	年末調整のしかた⑤	42	労働保険の概要及び会計処理⑥
	13	年末調整のしかた⑥	43	労働保険の概要及び会計処理⑦
	14	年末調整のしかた⑦	44	労働保険の概要及び会計処理⑧
	15	年末調整のしかた⑧	45	労働保険の概要及び会計処理⑨
	16	年末調整のしかた⑨	46	
	17	法定調書の流れ①	47	
	18	法定調書の流れ②	48	
	19	法定調書の流れ③	49	
	20	法定調書の流れ④	50	
	21	法定調書の流れ⑤	51	
	22	法定調書の流れ⑥	52	
	23	法定調書の流れ⑦	53	
	24	法定調書の流れ⑧	54	
	25	法定調書の流れ⑨	55	
	26	法定調書の流れ⑩	56	
	27	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①	57	
	28	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②	58	
	29	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③	59	
	30	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習応用			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	3 0 単位時間			
授業コマ数	1 5 コマ			
授業概要	実務で必要とされる書類作成技術を学ぶ。商品の発注・受注から納品・請求までの一連の事務手続きに必要な書類作成技術を学ぶ。			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができ			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	文章の作成と管理①	31	
	2	文章の作成と管理②	32	
	3	文章の作成と管理③	33	
	4	表作成の基本操作①	34	
	5	表作成の基本操作②	35	
	6	表作成の基本操作③	36	
	7	表、画像、図形を使った文書の作成①	37	
	8	表、画像、図形を使った文書の作成②	38	
	9	表、画像、図形を使った文書の作成③	39	
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①	40	
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②	41	
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③	42	
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④	43	
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤	44	
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理実務実習		
実務家教員授業	○		
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習・講義		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	実務で必要とされる事務処理を身に付けることを目的とする。消費税処理、伝票処理、給与処理などを中心に学ぶ。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記	会計事務所にて7年間実務を経験したものが、所得税・住民税・社会保険料の納付に関する実例を交えながら講義を実施		
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム	31
	2	小切手・手形の実務上のポイント	32
	3	入出金伝票と現金出納帳	33
	4	当座預金出納帳と手形記入帳	34
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分	35
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理	36
	7	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務	37
	8	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）	38
	9	個人住民税の徴収及び納付	39
	10	印紙税の基礎知識	40
	11	受取利息の会計処理	41
	12	消費税法の概要	42
	13	消費税の会計処理	43
	14	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①	44
	15	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計ソフト演習		
実務家教員授業	○		
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習・講義		
授業時間	3 0 単位時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	一般的な会計ソフトの利用技術を身に付けることを目的とする。会計ソフトの基本構造、利用方法を学ぶ。		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記	会計事務所にて7年間実務を経験したものが、会計ソフト操作の実例を交えながら講義を実施		
授業計画	1	振替伝票の入力操作	31
	2	入出金伝票の入力操作	32
	3	仕訳帳の入力操作	33
	4	売掛帳・買掛帳の入力操作	34
	5	現金出納帳・預金出納帳の入力操作	35
	6	勘定科目の追加登録	36
	7	付箋機能	37
	8	決算手続きの操作①	38
	9	決算手続きの操作②	39
	10	決算手続きの操作③	40
	11	決算手続きの操作④	41
	12	決算書の作成①	42
	13	決算書の作成②	43
	14	決算書の作成③	44
	15	翌期繰越処理	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	総合演習IX（接遇論マナー実践）		
実務家教員授業			
学部・学科	税理士会計士学科2年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習・講義		
授業時間	6 0 単位時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	企業内で必要とされる基本業務を身に付けることを目的とする。ケース別の実践的なロールプレイングを行い、より実践的なトレーニングを行う。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する		
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ		
特記			
授業計画	1	接遇マナーとは	31
	2	接遇の心構え①	32
	3	接遇の心構え②	33
	4	接遇の心構え③	34
	5	接遇の心構え④	35
	6	接遇の心構え⑤	36
	7	お茶の入れ方、出し方①	37
	8	お茶の入れ方、出し方②	38
	9	お茶の入れ方、出し方③	39
	10	お茶の入れ方、出し方④	40
	11	お茶の入れ方、出し方⑤	41
	12	お見送り①	42
	13	お見送り②	43
	14	後片付け	44
	15	接遇の流れ①	45
	16	接遇の流れ②	46
	17	接遇の流れ③	47
	18	接遇の流れ④	48
	19	演習①	49
	20	演習②	50
	21	演習③	51
	22	演習④	52
	23	演習⑤	53
	24	演習⑥	54
	25	演習⑦	55
	26	演習⑧	56
	27	演習⑨	57
	28	演習⑩	58
	29	効果測定①	59
	30	効果測定②	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経営学概論			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	企業がいかに行動すべきかの知識習得を目的とする。戦略論・組織論の分野とファイナンス理論の分野について学ぶ。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	戦略論・組織論を学び、企業経営に関する知識の習得をする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	近代組織論	16	経営科学の必要性
	2	組織構造論	17	オペレーションズ・リサーチ（経営科学の歴史的背景）
	3	組織構造論	18	経営科学による問題解決
	4	組織文化論	19	情報処理とコンピュータ
	5	コンフリクト論	20	統計データのまとめ
	6	リーダーシップ理論	21	平均値と分散（度数分布の特性値）
	7	経営戦略の基礎概念	22	統計的推測
	8	多角化戦略	23	表計算ソフトの利用
	9	国際化戦略	24	時系列分析
	10	競争戦略	25	回帰と相関の分析
	11	マーケティング	26	表計算ソフトの利用
	12	マーケティング	27	在庫管理
	13	経営戦略の展開方式	28	最適発注量
	14	技術経営	29	ペイオフ表による分析
	15	経営戦略論の学説史	30	機会損失表による分析
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	英語			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2年次			
開講学期	2学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義・演習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	英語の基本構造を理解し、総合基礎英語力を身に付けることを目的とする。リスニングやヒアリングを実施しながら学ぶ。			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	ビジネスに必要な実践的な英語スキルを身に付ける			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	I 基本単語 1. 名詞	31	出会った時のあいさつ
	2	I 基本単語 2. 動詞	32	初対面の人と話す
	3	I 基本単語 3. 副詞	33	人を紹介する
	4	II 語彙 1.同意語	34	別れる時のあいさつ
	5	II 語彙 2.反意語	35	お礼を言う
	6	II 語彙 3.派生語	36	おわびをする
	7	III基本熟語 1.形容詞を中心とする熟語	37	依頼する
	8	III基本熟語 2.動詞の働きをする熟語	38	許可を求める
	9	III基本熟語 3.副詞の働きをする熟語	39	賛成・同意する
	10	III基本熟語 4.前置詞の働きをする熟語	40	反対・否定する
	11	III基本熟語 5.1語で置き換えられる熟語	41	聞き返す
	12	IV基本文法 1.文の種類	42	あいづちをうつ
	13	IV基本文法 2.基本時制	43	発話①
	14	IV基本文法 3.進行形	44	発話②
	15	IV基本文法 4.完了形	45	効果測定
	16	IV基本文法 5.受動態	46	基本の英会話①
	17	IV基本文法 6.助動詞	47	基本の英会話②
	18	IV基本文法 7.数量形容詞	48	基本の英会話③
	19	IV基本文法 8.疑問詞	49	基本の英会話④
	20	IV基本文法 9.関係代名詞	50	基本の英会話⑤
	21	IV基本文法 10.関係副詞	51	基本の英会話⑥
	22	IV基本文法 11.比較	52	覚えて便利な日常会話フレーズ①
	23	IV基本文法 12.不定詞	53	覚えて便利な日常会話フレーズ②
	24	IV基本文法 13.原形不定詞	54	覚えて便利な日常会話フレーズ③
	25	IV基本文法 14.動名詞	55	覚えて便利な日常会話フレーズ④
	26	IV基本文法 15.HAVEとGET	56	覚えて便利な日常会話フレーズ⑤
	27	IV基本文法 16.分詞	57	場面別英会話①
	28	IV基本文法 17.前置詞	58	場面別英会話②
	29	Vその他 ことわざ、会話表現	59	場面別英会話③
	30	効果測定	60	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	体育			
実務家教員授業				
学部・学科	税理士会計士学科2年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習・講義			
授業時間	6 0 単位時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	身体運動を媒介として人間形成をめざすことを目的とする。各種の運動を通じて、健康な生活を営む態度などを学ぶ。			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	技術・知識の習得と共に、健康増進への関心を持つ。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	健康管理概論 指導者の役割Ⅰ（国内のトレーニング指導者に対するニーズ）	16	現代社会におけるスポーツの経済的役割
	2	健康管理概論 指導者の役割Ⅱ（トレーニング指導者の役割と業務）	17	スポーツビジネスの発祥
	3	健康管理概論 指導者の役割Ⅲ（競技スポーツ分野における状況に応じた活動）	18	欧州におけるプロスポーツチームの誕生
	4	運動生理学 内分泌系と運動Ⅱ（レジスタンストレーニングとホルモン分泌）	19	アマチュアリズムと経済の関係性
	5	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅰ（五大栄養素の役割）	20	近代オリンピックにおけるスポーツの商業化、ソフト化
	6	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅱ（身体組成とエネルギー代謝）	21	マーケティング事例
	7	スポーツ栄養学 運動と栄養に関する基礎理論Ⅲ（スポーツ栄養マネジメント）	22	オリンピックとFIFAワールドカップの経済
	8	スポーツ栄養学 健康増進と栄養の基礎知識Ⅰ（健康に関する目標と食事摂取基準）	23	アメリカプロスポーツリーグとNPBの経済
	9	スポーツ栄養学 健康増進と栄養の基礎知識Ⅱ（バランスガイドを活用した食事指導）	24	授業のまとめ
	10	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅰ（心理面のかかわり・心理面を考慮した指導法）	25	スキー実習Ⅰ
	11	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅱ（選手のメンタル面の強化、モチベーションの向上）	26	スキー実習Ⅱ
	12	スポーツ心理学 運動と心理の基礎理論Ⅲ（指導者の考え方）	27	スキー実習Ⅲ
	13	スポーツ医学 外傷、創傷の応急処置（R I C E処置の重要性、留意点、止血法）	28	スノーボード実習Ⅰ
	14	スポーツ指導論基礎まとめ①	29	スノーボード実習Ⅱ
	15	スポーツ指導論基礎まとめ②	30	スノーボード実習Ⅲ
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％ 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				